



高知大学
Kochi University

2007



Faculty of Humanities and Economics

Faculty of Education

Faculty of Science

Medical School

Faculty of Agriculture

知と個性が織りなす潮流

ここには毎年、ありとあらゆる個性が集まってきます。
出身地も言葉も習慣も違えば、考え方や感じ方、
興味の対象や好みも異なる多種多様な個性、個性、個性・・・
それらはここで、自分とは違う多くの個性と出会うことによって、
より豊かでより新たな個性へと成長していきます。
いろいろな人との学問的交流や人間的関わりを通じて
新たな視点や世界観を獲得したり、
実践的行動を起こすことで
さらなる夢や目標を見いだしたり——
それは大洋を流れゆく潮流が、
あらゆる分岐と合流を繰り返しながら
新たな生命を生み出し、
やがて大きなうねりとなっていく様にも
よく似ています。

ようこそ、高知大学に。
ここは知と個性が織りなす潮流のまったただ中。
あなたもこのはかり知れない可能性の大海に、
一緒にのりだしてみませんか？

Contents

- 土佐の風土 — 3
- 高知大学の学び
- 理念と目標 — 5
- 教育課程 — 7
- 共通教育 — 8
- 教育システム — 9
- Watching 学生の視点 — 11
- 各学部の紹介
- 人文学部 — 17
- 教育学部 — 23
- 理学部 — 28
- 医学部 — 34
- 農学部 — 39
- 大学院 — 47
- 国際交流 — 49
- 研究プロジェクト — 51
- 教育研究施設 — 53
- 学部附属施設 — 56
- キャンパスライフ — 59
- 就職活動支援 — 65
- 学長あいさつ — 67
- オープンキャンパス — 69
- MAP — 71



高知大学 学章

未来に向かって飛躍する希望に満ちた高知大学の
イニシャル「K」をモチーフに、太平洋の波濤と黒潮を
青色、若者の可能性と大空とを空色でそれぞれイメ
ージ。躍動感 溢れた「高知大学」を表現しています。

頭をからっぽにして聞け

その殻を破ってほしい

全部手を出せ

だからまず興味をもってもらおう

羅針盤の中から糸が紡ぎ出されるように

ミクロな目とマクロな目が一体化

継続の力

判断していく

大命題

非常に冷徹に理解して

これは至上の喜び

種火はついている

視点を養う

寛容性がある場

現場こそが研究の場

自分は何者か

自らがアクションを起こしていく

Thinking

Philosophy

Postmodern

対話する姿勢

混沌としている

自分に忠実

現場からの課題

語らしめる

原点になるのは体験

人の話を疑え

自分で門をたたく

自然をどう捉えるか

最初は死体として

一方で **クール** に、一方で **情熱的** に
とことん信じて突き進む

自分たちでイメージして

「異文化」

自分がどう動くか

既存の学問範囲から飛び出して

事実はそのに出ている 反省すれば当然進歩がある

それが興味 心を閉ざさない

同じくらいの **価値** がある

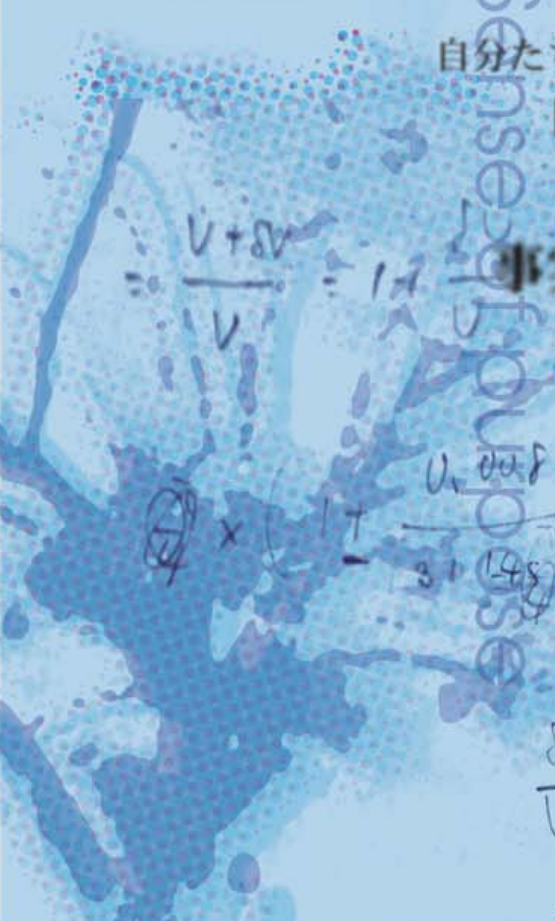
人間をつくる場所

結局は自分を見つめている
その中から自然と自分の道が

何かが生まれる

持続的に **目的意識** を明確に

どちらかの **結論** を得ることができる



CONTINUOUS

土佐の風土

Geographical features of Tosa



180度の水平線が広がる土佐湾。沖合には遠く東南アジアから流れ来る黒潮の営みがあり、海底には世界でも有数といわれる活断層の分布が見られる。

史・人・言

背後にそびえる険しい山々によって隣国との交流が阻まれてきた土佐では、それゆえに独立心旺盛な自由の精神が育まれてきました。一方で、南には途方もなく広がる太平洋を望み、黒潮によって流れつく様々な異文化の断片は、新しいものへの興味や変化への期待、他者を受け入れる懐の深さという土佐人気質につながったと言われていいます。その気風は、物事の均質化が加速する現代においても、他と違うこと、中庸でないことに価値を見いだす精神風土としてしっかりと根付いています。



野中兼山(1615~63年)
江戸前期の南学派朱子学者・政治家。谷時中に学び、土佐藩家老を30年間務めた。農桑の奨励、室戸港の開掘、農業水路の敷設など、数々の殖産事業を手がけた。



ジョン万次郎 [中浜万次郎](1827~98年)
現在の土佐清水市に貧しい漁民の子として生まれたが、1841年出漁中の遭難で捕鯨船に救出され、アメリカに渡った。同国で教育を受けた後51年に帰国。その経験と知識を買われ、ペリー来航に際しては幕臣に登用され翻訳、通訳に従事。西洋諸国の先進ぶりを国内に伝え、開国派に大きな影響を与えた。



坂本龍馬(1835~67年)
幕末の志士。勝海舟に航海術を学び、1864年長崎で日本初の株式会社亀山社中(のちの海援隊)を結成、貿易と海運に従事した。66年には薩長同盟を実現。海外の事情に通じ、公議政体論を唱え大政奉還を成功させた、いわば明治維新の陰の立役者。死後130年を経た今も、その行動力、独創性、先見性ゆえに幅広い世代から支持されている。

山・川・海

荒々しくも美しい自然に囲まれた土佐の国。しかし単に自然が豊かというだけでなく、地球的な目線で見て土佐をとりまく自然環境が実におもしろいという研究者が多くなります。自然科学、人文社会科学など様々な視点で研究・教育を行っていく上で、高知県という地域はいくつもの非常に恵まれたフィールドを抱えているのです。



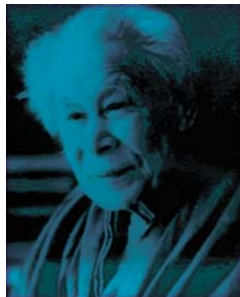
今でも多くの自然が残される土佐の山間。四万十川をはじめ、人と自然が共生する暮らしが最先端のスローライフともてはやされるが、ここではごくあたりまえの姿である。



中岡慎太郎(1838～67年)
幕末の志士。土佐勤王党に名を連ね、江戸で尊攘運動に参加。脱藩後は、高杉晋作や桂小五郎と交友を深め、薩長同盟実現をめざし奔走する。京都にて陸援隊を結成するが、維新を目前にして、坂本龍馬と共に暗殺された。



板垣退助(1837～1919年)
明治時代の政治家。大政奉還に奔走し、明治政府の参与・参議となる。征韓論に敗れ下野し、自由民権運動の中心的人物として活躍。立憲社、愛国社設立に尽力し、1881年自由党を結成、総理となった。



牧野富太郎(1862～1957年)
植物学者。子どもの頃からの植物好きが高じ、独学で研究を続ける。著作に「日本植物図鑑」等があり、日本人として初めてヤマトグサに学名をつけるなど、日本の植物学を世界レベルにし、その基礎を築き上げた。夫の研究を支えた寿衛子夫人に感謝の意を表し、新種の笹にスエコザサと名付けたエピソードからも、彼の温かい人柄が窺われる。1957年文化勲章受章。



寺田寅彦(1878～1935年)
明治～昭和の物理学者・随筆家。東大教授。実験物理学・地球物理学に業績を残した。学問研究のかたわら文学にも傾倒し、夏目漱石に師事。雑誌「ホトギス」に写生文・俳句などを発表。特に科学随筆にユニークな着想と新鮮な機知を示した。



大原富枝(1912年～2000年)
高知を代表する女流作家。1938年に「文芸首都」に寄稿した作品が上半期芥川賞候補となり、上京して文筆活動に入る。1957年、「ストマイつんぼ」で第8回女流文学者会賞、1960年には、「婉という女」で野間文芸賞、毎日出版文化賞を受賞。1970年「於雪―土佐一条家の崩壊―」で第9回女流文学賞を受賞。また、1990年には勲三等瑞宝章を受けた。



高知大学の学び

大学での学びには、まず学生自らが積極的・主体的に取り組んでいくこと――

自学自習の姿勢が必要です。

そして教員には、学生からのアクションに対し

それ以上の熱意と高度な知識技術・教養をもって応えていくことが求められます。

つまり大学とは、学びたいという意欲とそれに応える熱意と学識とが会う場所。

この出会いこそが、すべてのはじまりなのです。

高知大学の理念

高知大学は、教育基本法に則り、国民的合意の下に、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実・発展を推進します。

高知大学の目標

高知大学は南国土佐の自然と風土に学び、未来を展望した知の創造と学術の継承・発展を通して、人類の持続的発展と地域社会へ貢献することを使命として、以下の目標を掲げます。

人材の育成

21世紀の知識創造社会で活躍できる人材の育成を進めます。そのため学部では総合的学識と深い専門的学識を身につけ、かつ人間性や社会性に富んだ活力ある人材の育成に努めます。大学院では日本や世界が必要とする高度専門職業人の養成を図るとともに、特定分野において世界の学術研究をリードできる研究者を養成します。

社会貢献

基礎科学と応用科学の領域横断的研究を通じて社会に貢献します。地域の中核的総合大学として、総合的な学術研究基盤を維持発展させるとともに自然、文化などの地域特性を活かした研究を推進し、「資源探索・開拓」、「先端材料開発」、「人類環境共生科学」、「海洋コア」、「先端医療と高齢者医学」、「黒潮圏科学」及び「フィールドサイエンス」の各研究に特化した先端的で国際的な教育研究拠点を形成します。

地域連携

地域における国立大学として、若い世代や国民のための斬新で魅力的な高等教育機会を提供しつつ、地域社会との産官学連携研究を推進・発展させることにより、持続的な地域社会の発展のための研究成果及び専門性に富む人材の供給基盤としての役割を果たします。

国際貢献

アジア・太平洋地域を始め世界の国々、特に発展途上国との教育研究協力活動を推進します。これらの国々の大学との研究交流、学生交流活動を推進する中で、世界の文化の発展に貢献します。

高知大学のキャッチフレーズ

Chance

好機

Challenge

挑戦

Change

変革

Create

創造

独自のカリキュラム

高知大学では、在学する4年間（医学部医学科は6年間）を一貫した教育課程と捉え、知識偏重ではなく実践型の学びを重視する先進的なカリキュラムを構成しています。

教育課程

「一般教育終了後、専門教育に移行する」という従来の二段階教育課程から脱却し、在学する4年間（医学部医学科は6年間）を一貫した教育課程と捉え、幅広い教養と深い専門性を身につけ、総合的な判断力と柔軟な発想に基づく課題解決能力を修得できる教育課程を編成しています。

教育課程は全学共通の4つの教育科目に区分し、学部・学科・課程ごとの系統的なカリキュラムで構成されます。



基軸科目

4年間の学習のための基本的な知識と技法を身につけ、自ら考えて表現する姿勢や問題を探求する能力を発揮できるよう指導します。具体的には、大学学、日本語技法、大学英語入門、英会話、情報処理I、情報処理II、健康の7科目が、学部学科を超えて全学共通に開講されています。

教養科目

文化、社会、教育、生命、自然、生産・産業に対する興味や関心に基づいて授業科目を選択し、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的な課題に目を向け、人間として豊かな教養が育まれるように指導します。

基礎科目

高度な専門的学習に向かうため、学部を超えて共通に必要な個々の学問領域に触れ、総合的で自主的な学習能力を養います。

専門科目

各学科・課程・コースの特色を反映した専門教育のための授業科目からなり、卒業研究（論文）・卒業制作へ発展させられるように指導します。

共通教育

共通教育は「人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ人格の完成をはかること」を目的とし、基軸科目、教養科目、基礎科目の3種類から構成されています。授業は講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、学生は実践の中で自分自身の幅を広げながら専攻決定へのプロセスを踏むことができます。この取り組みは国立大学の中でも先駆的な試みとして高い評価を受けています。



特色ある教育システム

高知大学では、現代社会のニーズをよく把握し、社会の求める人材を育成するために、「自由」「自律」「協働」を柱とした独創的な教育システムを構築し、高い評価を得ています。

学生支援の多様な取り組み

大学教育は学生の自主性があるはじめて成り立ちます。学生一人ひとりが自主・自律的に充実した学習ができるよう、高知大学では様々な教育システムを導入しています。

また学生の興味にそった多様な授業を用意するため2学期制を実施するなど、積極的にそのシステムの改革をはかっています。

学生アンケート・授業評価

毎年、授業や教育環境についての学生アンケートを行い、結果を公表するとともに、問題点の改善に努めています。

アドバイザー教員制度とオフィス・アワー

一人ひとりの学生に対して、きめ細かな履修指導や進学・就職指導ができるよう、アドバイザー教員制度をとっています。学生は、オフィス・アワーの時間に、あらゆる相談や質問ができます。

2学期制とシラバス

学生は1年間同じ授業に縛られることなく、年に2回受講登録ができ、より自由な履修計画を立てることができます。シラバス(授業ガイド)で授業内容をあらかじめ知り、授業計画の目安にすることができます。また、週に複数回授業を行う集中授業方式を外国語教育で採用し、教育効果の向上をはかっています。

高知女子大学・高知工科大学・放送大学との単位互換

各々の大学の授業を受講し、単位を修得した場合、高知大学で修得した授業科目として、認定を受けることができます。

補習教育

高等学校の教育内容の多様化や専門高校からの入学者のために、英語(大学英語入門S)・自然分野(例えば物理学の基礎)など補習教育を実施しています。



情報教育環境の利用

学生は、必携のノートパソコンで、自由に利用できる情報コンセント室(29教室等、1766口)から、インターネットへの接続や電子メールの送受信ができます。

早期卒業

優秀な成績で卒業に必要な授業科目の単位を修得した学生に対しては、その優れた才能の一層の伸長をはかるため、希望により3年で卒業できる「早期卒業」の制度を導入しています。

学生の海外派遣

国際交流の一環として、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、クイーンズランド大学(オーストラリア)、中国やタイなどの大学に学生を派遣しています。留学先の大学で修得した授業の単位は、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

ティーチング・アシスタント

共通教育の実験科目や演習科目では、授業時間中、大学院生によるティーチング・アシスタントをおき、学生の理解をサポートしています。

現代的教育のニーズに対応した教育プログラム

高知大学発、日本初！ 自律協働入門授業とCBI授業

この2つの授業は、高知大学が開発し学外の組織や個人と協働して実施する、日本で初の授業です。これまでのいわゆる“知識”だけではなく、“生き方や学ぶ意義”を学べるのがこれらの授業の特長です。

自律協働入門授業は、1年生1学期にしか受講できません。これは入学生の皆さんに、より早い段階で輝く社会人と出会い、その後の大学生活をできるだけ充実したものに

してほしいという思いから。そしてCBI授業では、日本初の長期インターンシップを授業に組み入れることで、自律協働入門で培った“生き方や学ぶ意義”をさらに実践的に高めていくことができます。また、この2つの授業後も、高知大学独自の様々な教育プログラムによって、社会で活躍できる自分になるための手助けがしっかり行われています。

生き方や学ぶ意義を学ぶ！ 自律協働入門授業

Point 1 輝く社会人と出会い、生き方に感動！

授業の講師は、首都圏や県内から招聘した熱い思いを持つ社会人10名の方々。“インタビュー”という方法を通じて、輝く社会人の前向きな心を知ろう！

Point 2 自分を直視し、成長を喜ぶ

自分自身と深く向き合うことの繰り返しによって、人間的成長は促されます。授業では、自分の活動を振り返る時間をつくり、成長へとつなげていきます。

Point 3 チームで学び、思いを分かち合う

受講生10名と担当教員1名とでチーム（演習）を組み、半年間（1学期間）活動を共にします。少人数制だからこそチームワークが身につく、教員の丁寧なバックアップを受けることもできるのです。

■ 自律協働入門授業の流れ

1年1学期初め 入門合宿

- フォーラム（パネルディスカッション）
- 社会人寺子屋（夜なべ談義）
- 振り返りプレゼンテーション

まず、授業を始めるにあたって大事な準備として入門合宿を行います。パネルディスカッションでこれから何を学ぶのか、社会人と意見交換します。また、社会人寺子屋では、学生と社会人が気軽に語り合える機会を取り入れています。

1年1学期中

少人数演習（10名程度）

- 社会人インタビューのための準備
- 社会人インタビュー後の振り返り

社会人講義

- 学生による社会人インタビュー
- 社会人講話

繰り返し

本格的に授業が始まると、その中心となるのは学生による社会人インタビューになります。少人数演習では、インタビューのための準備とその結果の意味を理解することを演習で行います。社会人講義では学生によるインタビューと社会人講話が行われます。



1年1学期末 成果発表会

授業の最後には、これまでの活動の総括を演習単位で発表します。これにも十分な準備時間を用意し、これまでの活動を振り返ります。

長期インターンシップに挑む！ CBI授業

CBI = Collaboration based Internship

CBI授業とは、首都圏のベンチャー企業及び県内企業・NPO法人などで4ヶ月間の長期間、実践型のインターンを組み入れた授業で、最大14単位が取得可能です。授業はCBI企画立案（事前学習）とCBI実習（インターンシップ）、CBI自己分析（事後学習）の大きく3つから構成されています。

特にCBIでのインターンシップは1年生2学期から2年生1学期にかけて行い、21世紀社会で活躍する人には必要とされる“謙虚さ”や“社会性”について学べるのが特長です。また、CBI企画立案（事前学習）のみの受講も可能で、インターンシップ実習を行わないという選択もできるようになっています。それは、この授業が“自分なりのこれから進むべき道を見つけること”に主目的を置いているためであり、多様な学生に対応できる柔軟性を持ったシステムとなっています。

■ CBI授業の流れ

1年2学期 CBI企画立案（事前学習）

- チームビルディング
- 社会人取材
- 自分プレゼン資料制作

事前学習では、インターンに向けて重要なコミュニケーション力や、チームワークなどを磨きます。またインターンへの目的意識をはっきりさせる期間でもあります。

2年1学期 CBI実習 I～IV（インターンシップ）

- 実践型インターンシップ
- 教員モニタリング
- キャリア開発講座（県内と首都圏）

インターンシップ中は、定期的な教員のモニタリングで皆さんの活動をサポートします。首都圏でのインターンについても、コーディネーター組織が企業と学生と大学の連携が速やかに取れるよう、協力してくれます。

2年9月 CBI自己分析（事後学習）

- 自己分析
- 成果発表

インターン終了後は、早い時期に自己分析を行います。インターン中に自分のどういふところが変わったのか振り返り、その成果を発表することで“インターンに行った”だけでは終わらせず、今後の大学生活につなげます。



未来へつながる、「今」

大学生として過ごす4年間は、
一人ひとりが未来への夢や目標を見つけ
それを実現する能力と精神力を身につけるための大切な時間。
誰の上をも同じように流れゆく時間、
その密度を決められるのは、あなた自身。

あなたなら、どんな時間を創っていきますか？

222 番教室

全ての経験が 自分のやりたいことを探る道筋

人文学部社会経済学科4年生
長谷川はるか
高知県出身

大学に入学した時はとにかく「自分を変えたい!」と強く思っていました。成績とか環境とか、人と比べてばかりいた高校生までの自分が嫌で。だから4年間を通してさまざまな活動にチャレンジしてきました。でも最初の頃はわかっていなくて(笑)。「変わるために何かで絶対一番になるんだ」と焦っていたんですね。大学に入ると年齢も環境もそれぞれみんな違う。何がすごい、誰が一番、というものではない。それなのにたくさん活動をしていることで「自分はすごい、自分は一番だ」と調子に乗ってしまっていた(笑)。だから当然いっぱい失敗しました。例えば、大学のイベントでプレゼンフェスタというのがあって、これは大学生が自分で感じたことを自由に表現する場なんですけど、自分では絶対入賞できると自信满满で臨んだのに全然ダメ。観客の方々からコメントをいっぱいもらって、はじめて気づく。伝えたい中身があったわけではなく、単にみんなをあとと言わせてやろうということが目的になってしまっていたんだな、とか。でもそういうことを何度も繰り返していくうちに勘違いしていた部分に気がついたり、一番大事なものが見えてきました。積極的にたくさん活動をしてきた

ことは自分の自信につながったし、失敗があったから人や物事のいい面、悪い面も見えるようになってきました。

また3年生になって就職活動が始まると、今度は冷静に自分を見つめる機会も出てきて、常に客観的な目線を忘れてはいけないと思うようにもなりました。

今振り返ると、いろいろやってきた活動はその分だけ自分がやりたいことを探してきた道筋だったように思います。自分なりに考えて働きかけ、そこから返ってきた反応に反省し、新たなことを学び、次に活かす。そんな繰り返しの貴重な時間。一つひとつの活動がすごく楽しく充実していたし、全ての経験が自分の宝物です。

私がかれからも大事にしていきたいのは、困っている人を助けたいという気持ち。4年間取り組んできた中でも、ボランティア活動は大きなウエートを占めていました。人からはよく、やってもお金にもならないのと言われたけれど、S・O・S※の活動で交流した田野小学校の児童や先生達、高知市行川地区の住民の皆さん、大学のオープンキャンパスでふれあっ

た高校生、みんな自分にとっては大切な出会いになりました。4年生になって始めたトマト農家でのアルバイトもそう。いつかは自分でも無農薬野菜とか育てたいなんて思ったり。

たくさんの活動をして失敗もあったけど、今はその分「自分は変わった」と言えるかなあ(笑)。講義やゼミという学業ももちろんですが、いろいろなことにチャレンジできるのが大学の4年間。自分次第でどんどん成長できる、そんな時間だと思います。





長谷川さんの大学生生活4年間

学年	学業	活動
1	共通教育	吹奏楽サークルに参加(1ヶ月)
		高知大のオープンキャンパスで人文学部企画に参加
		学業や他の活動とバランスをとりながらアルバイト
		タウンミーティングにスタッフとして参加
		県内の企業にインターンシップ(2週間)
		S・O・Sの活動に参加 プレゼンフェスタに初挑戦
2	共通教育	「フジ子どもエコクラブ」のボランティアを始める(1年間)
		S・O・Sの活動として、田野小学校のパソコン授業のサポートなどを行う
		「政策立案コンテストGAIL(ガイル)」に参加
		武蔵野大学と高知大学の夏の合同オープンキャンパスにスタッフとして参加
		S・O・Sの活動として、高知市行川地区の地域住民とパソコン交流会を実施 プレゼンフェスタに再挑戦
3	研究室に配属	はじめての海外旅行(フランス)
		武蔵野大学と高知大学の春の合同オープンキャンパスにスタッフとして参加
		香川県豊島の「島の学校」に個人として参加する。その後大学の授業としても参加
4	就職活動開始	農家のアルバイト
		県外の会社に就職内定
4	卒論のテーマを決め資料収集開始	S・O・S活動(プロモーションCD-ROM制作等)
		卒論発表会

1学期のある一日



8:50~10:20
授業(講義棟にて)



10:40~12:00
友達と一緒に勉強(メディアの森にて)



12:00~13:10
家に戻って昼食



13:10~16:20
S・O・S活動の準備や休憩など(S・O・S研究室にて)



16:30~18:00
ゼミ(人文学部棟演習室にて)



18:10
下校

※S・O・S (Students' Organization for Self-help and Official Support)
大学公認の「学生による自律的学内外サポート組織」。新入生へのPC活用支援を目的として発足したが、現在は大学紹介プロモーションCD-ROMの制作やプレゼンフェスタの撮影などの活動を行っている。また、学外では県東部の田野町・田野小学校でのPCを使った授業のサポートや卒業記念CD-ROMの制作、高知市行川地区の地域住民とのPC交流会などの実績がある。



想像したこともないような授業！ 受け身ではなく積極的に

教育学部 生涯教育課程
芸術文化コース1年生
梅田 純吾
愛知県出身

大学の授業というのは、高校生までの授業形態とは全然違います。最初は90分という長い授業時間に集中するだけでも大変でした。しかも実技、講義、グループ学習といろいろな形があって、頭を切り替えるのが大変だった(笑)。

入学して最初の実技の授業は、「サウンドクラフト」という美術と音楽を一体化したものでした。これは木工や金工で自分オリジナルの楽器をつくって演奏しようという内容で、自由でおもしろかったです。僕は鉄の棒をバーナーで熱して金槌で叩き、曲げたりドリルで穴を開けたりして鉄の尺八をつくりました！バーナーなんて触るのも初めてでしたけど(笑)。そのままのピカピカじゃおもしろくないので、硫酸につけてわざとサビさせたりもして。なんとかきれいな音階が出ました。

それから、共通教育でとった「芸術を考える～オーケストラがやってくる！～」という授業。カリキュラムを自分で組むのが初めてで、よくわからないまま取ったのですが(先生すみません、ちゃんとシラバスに書いてあったのに)、初回の授業で「高校生のプラスバンド演奏会を自分たちの手でプロデュースします」と聞いてびっくり！地元の高校からピックアップメンバーを集めてコンサートホールでチャリティ演奏会をする、という想像もしてなかった実践型の授業。高校の先生との打ち合わせから始まり、チラシ作成、配布、チケット販売、舞台設営、当日の接客とすべてを先

生の指導のもと学生の手でやりきりました。この授業では、本当にたくさんの経験ができた。裏方をやったことで一つの物事にもいろいろな面から支えている人がいるということがわかったし、当日その場で対応しないといけないようなことが出てきて、自分たちで判断しながら進めていったことも経験になりました。それに演奏した高校生達の顔がすごくいきいきしていて、大変だったけどこういう場を提供できたこと、みんなでひとつのことをやり遂げられたことがとてもうれしかったですね。達成感を共有できました。

この授業を通じて、そしてこの1年間を通じて感じたのは、僕自身もっともっと積極的にならなければ、ということ。授業もレッスンも、もっと先生を追いかけて！(笑)僕はここに来て尊敬できる先生や先輩、友達とたくさん出会いました。学外の活動として始めた高知バツハカンタータフェラインという合唱団でも、いろいろな社会人の人と交わって徹夜で音楽論について語り合ったり…。音楽の先生を目指して入学してきましたが、最近はずっとステップアップして専門の道に進みたいという気持ちも少し芽生えてきました。

1学期のある一日

- 8:00
登校
- 8:10～11:20
発声練習、ピアノ練習(音楽棟にて)
- 11:20～12:00
音楽個人レッスン(音楽棟にて)
- 12:00～13:10
昼食(学生食堂、または天気によれば外でお弁当)
- 13:10～14:40
授業(共通教育棟にて)
- 14:50～16:20
授業(共通教育棟にて)
- 16:20～18:00
友達と話したり、休憩
- 18:00～
合唱団の練習(音楽棟を借りて)





共通授業

「芸術を考える～オーケストラがやってくる!～」

音楽教育(器楽・オーボエ)
脇岡総一教授からのコメント

この授業には人文、教育、農、医学部の1～4年生までの学生が参加しました。彼らが得た経験や充実感はきっと今後の糧になってくれることでしょう。
この試みは高知県という風土、規模だからこそできたもの。地域からの反響も大きく、今後は授業としてではなく、大学主催のイベントとして続いていく予定です。



前日の舞台セッティングの様子



演奏会の最後には、裏方の学生達にも大きな拍手が送られた

Check Point!

学びたい授業を自分で選べる!

高知大学では学部・学科・課程ごとに系統的なカリキュラムが構成されていますが、その中で人格形成を目的とする共通教育については、全学部横断で様々な授業が用意されています(P7～P10も参照)。志望した専門以外の分野の授業でも興味があれば受講することができますので、シラバスをよく読み、所属学部の履修案内で必修科目や単位の確認もしながら、学びたい授業を選ん

でみて下さい。高知大学では、修士課程・博士課程も含め、全ての教員が共通教育に関わるという独自の体制をとっています※。専門分野はもちろん異分野の第一線の研究者にも触れあうチャンス! 共通教育でいろいろな学問に触れ、自分の可能性を広げてください。

※隔年などの場合もあります。

シラバスは大学ホームページでも見ることができます。





6年一貫の医学教育が行われている
医学部医学科。
先進的なカリキュラムを導入し、
教育用の機材も充実している。



4月1日 学年開始
4月3日 入学式
4月7日 1学期授業開始

8月5日～31日
夏季休業

10月1日 創立記念日
10月2日 2学期授業開始
10月21・22日 南風祭



室戸貫歩 (11月)
「泣いて笑って、濃密な時間でした」と川名さん。
徒歩での参加者に混じって、竹馬リレーで参加する
学生チームなどもある。高知大学に来たら、一
度は参加するべし!?

自由だからこそ、 自分というものをしっかり持って

医学部 医学科2年生
川名 千尋
千葉県出身

私が医師を志したのは、中学1年生の終わり。幼なじみだった友人が、部活動中に突然倒れて亡くなったことがきっかけでした。その後、スイスの高校に通っていた時、ハンガリーの貧しい地域に入って一緒に家を建てるボランティアに参加。何日もかけて埃まみれになって穴を掘ったり防腐剤を塗ったり、家造りのお手伝いをしていった中で、人の役に立ちたい、医師になりたいという思いがさらに強くなりました。私はAO入試で入学しました。一次の学力試験の後、二次でグループ学習等を2日間行い、それを先生方が評価するのですが、その時この大学は学力だけでなく人間性を評価してくれている、と感じました。実際の授業の中でもその姿勢はよく表れています。例えば「よい医師とは何か」を考える授業があります。正式名は「診療の基本とその科学的根拠」とちょっと難しげですが(笑)、「挨拶ができる」「相手に共感することができる」「相手の立場を理解することができる」といった、医師としてだけでなく人間として重要なことをしっかりと学んでいます。医学部はやはりほとんどが必修科目で勉強方法も難しい。でも先輩からここが大事だよとアドバイスをもらったり、友達と教え合ったりして、自分なりに対策を立てています。気軽に声を掛けてくれる先生も多く、質問や相談もしやすいですね。大学というと希薄な人間関係というイメージがあるけれど、ここは違う。風邪を引いて寝込んだ時に友達が手紙と一

緒にスポーツ飲料を持ってきてくれたことがありました。そういうのが本当にうれしくて。人と人との関係がすごく深いんですね。大学行事で心に残っているのは、室戸貫歩です。これは毎年11月末、朝倉キャンパスから室戸岬まで一晩かけて歩き通すという高知大学の伝統行事。大学生だけでなく一般の方も多く参加しています。私は昨年、友達と二人で初参加しました。歩き出して50kmくらいまでは余裕だね、なんて言っていたんですが、60km、70kmになって日が暮れてくると、寒さも増してきて精神的にすごくまいりました。でも1回も弱音を吐かず、友達とお互いに「がんばろう、がんばろう」と手を引き合って…。ゴールした時はもう感動で泣きましたね(笑)。つらかったけれど、それを一緒に乗り越えた友達とは本当に仲良くなれた。高知は自然が豊かでしょう。夜空もとてもきれいで、歩きながら流れ星がいくつも落ちるのが見えるんです。そのうち朝日が上ってきて…。忘れられない光景ですよ。ちなみに私達の記録は26時間22分でした! 大学生活というのは確かに自由です。でも、だからこそ自分というものをきちんと持っていないとやっていけない。私は人間味にあふれ、相手の立場に立てる医師になりたい。その目標に向かって、自分をきちんと持ちながら精一杯学んでいきたいと思っています。

2学期のある一日

- 8:45 登校
- 8:50～10:20 講義(講義棟にて)
- 10:30～12:00 PBL学習 (チュートリアル教室にてグループ学習)
- 12:00～13:10 昼食(学生食堂、または天気がよければ外でお弁当)
- 13:10～18:00 組織学実習(組織学教室にて)
- 18:00 下校



よさこい祭り(8月)

市内の街路という街路を独創的な衣装・振り付けで踊り歩くよさこい祭り。高知大学にもいくつかの常連チームがあり、沿道から声援をくれる固定ファンも多い。



11月3日～5日 黒潮祭

12月27日～1月6日
冬季休業



3月1日～31日 学期末休業
3月23日 卒業式

2学期のある一日

-  8:40
登校
-  8:50～10:20
講義(講義棟にて)
-  10:30～12:00
講義(講義棟にて)
-  12:00～13:20
寮に戻って昼食
-  13:20～
ゼミのため宇佐に移動
(同級生の車に同乗もしくは自転車で)
-  14:00～18:00
ゼミ
(宇佐の海洋生物研究教育施設)
-  18:30
帰寮

理学部 自然環境科学科
生物コース3年生
のぶひと
北川 総人
奈良県出身

人との出会いで
自分の世界は大きく広がる

僕はこの3年間、高知大学伝統の男子寮・南溟寮で大学生を送ってきました。今の僕があるのはこの南溟寮の仲間達があってこそ。ここでの生活が僕を成長させてくれました。

高知大学自体がそうなのですが、何しろすごく人間が個性的なんです。特に寮には、こんな奴が世の中にいたんだ!とびっくりするような人間が集まってくる。日本中から来るのでいろんな方言が飛び交っているし、海外からの留学生や社会人入学の学生もいるので年齢も幅広い。そんないろんな種類の人間に混ざり合って毎日を送るんですよ。それは楽しいし、刺激も受けます。ちょっとここでは言えないような出来事もたまには発生しますけどね(笑)。

寮のことをもう少し紹介すると、僕はふだん多くの寮生規約ののっとなって生活していて、中でも一番重要なのが挨拶です。寮生同士はもちろん、寮母さんをはじめスタッフの方やお客様、寮に来られたすべての方に大きな声で声を掛けることを徹底しています。コミュニケーションの基本ですし、不審者対策にもなる。寮生は毎年160名ほどいますが、1年生から上級生まで全員顔と名前が一致しています。これは僕達の誇りですね。また寮独自の行事もたくさんあって、年1回の寮祭は最高に盛り上がりますし、夏はよさこい祭りにも毎年参加しています。受験生のみなさん、ぜひ我等が南溟寮に入寮してきてください!

大学生になって最も大きく変わるの、活動範囲だと僕は思うんです。活動範囲が広がる。実際に移動した距離としても僕は部活のワンダーフォーゲル

部で北海道の大雪山から沖縄・西表島まで踏破しました。でもそういう意味だけでなく、いろんな場所に出て行ってそこで出会ったいろんなジャンルの人と交流することで、自分自身の世界が広がる。僕は生き物が大好きで21歳にもなって趣味が昆虫採集なんです(笑)、近くの山や林に虫網持ってしょっちゅう出かけます。宝の海と言われてる県西南端の柏島にも、自転車こいで毎年出かけます。そこで同じように海や山や生き物が大好きな人たちと出会うんですよ。そういうふれあいが自分を広げてくれる。研究については3年生後半から海藻の研究室に入っていますが、まだ駆け出し。本番は4年生からです。テーマとしては、海藻が不毛状態になる磯焼けという現象を食い止められないかとか、海藻類をうまく利用して島国日本に地下水ダムがつかれないかといった発展系の研究に興味があります。好きな分野で自分だからできるという道を見つけて、それを貫きたいですね。

研究活動、寮生活、大学の外でのいろいろな経験...今は何でも自由にできる分、時間のやりくりは大切です。やり方にしても、こうなさい、あしなさいとは誰も言ってくれません。自分で決め、自分で行動して、自分で責任をとっていかねばならない。僕もたまにさぼってピンチに陥ることもあります(笑)、そこはちゃんとやり遂げますよ!自分の道ですからね。



人文学部

Faculty of Humanities and Economics

世界最大の謎である
「人間」に挑戦する

学科名

■人間文化学科

- 人間基礎論コース
- 地域変動論コース
- 言語表象論コース

■国際社会コミュニケーション学科

- 国際コミュニケーションコース
- 国際社会交流論コース

■社会経済学科

- 総合地域政策コース
- 経済企業情報コース

取得できる資格

■人間文化学科

- 中学校教諭一種免許状(国語・社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・英語)
- 認定心理士
- 日本語教員養成副専攻課程の単位修得
- 学芸員

■国際社会コミュニケーション学科

- 中学校教諭一種免許状(社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・英語)
- 日本語教員養成副専攻課程の単位修得
- 学芸員

■社会経済学科

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
- 学芸員

求める学生像 Admission Policy

人文学部は人文科学と社会科学の総合学部です。

「人間」という存在を総合的に把握できる、「国際化」と「情報化」の時代に対応できる、「地域社会」の問題を理解し地域に貢献できる、そんな人材を育てたいと考えています。人間と人間がつくる文化や社会について旺盛な好奇心を持ち、課題に果敢に挑むスピリットにあふれた学生を求めます。

人間文化学科

哲学・心理学・言語学・史学・地理学・文学・語学などの人文諸科学に関心があり、人間それ自体や人間をめぐる歴史的・文化的環境、さらには多様化する現代の文化現象に興味を持ち、批判的な精神と創造的な力を涵養したいと考える学生を求めます。

国際社会コミュニケーション学科

地球市民としての広い視野と柔軟性を持ちたい。様々な国々と人々の相互理解の実現に貢献したい。それに必要な行動力、表現力や情報処理能力を身につけたい。地域の価値を、内側と外側の両方の視点から理解し、それを世界の各地へ向かって伝えたい。国際社会にネットワークを築き、世界の様々な地域の人々と連携したい。世界の人々と連携することで、自立したい。そんな学生を求めます。

社会経済学科

経済学・法学・経営会計・政治学・社会学などの社会諸科学に関心がある学生、パソコンやインターネットを活用して現代社会の問題に取り組みたいと思っている学生、地域社会に関心があり、地域の総合的發展に貢献したいと考えている学生、企業とその環境に関心があり、情報収集・分析・処理能力を身につけたいと思っている学生、商業・会計・簿記・情報処理などの実務能力を専門的に身につけたいと思っている学生を求めます。



学部の大きな特徴は、学科間の“かきね”が低いこと。その気になれば、コースの枠を超えて、あらゆる領域を自由に学ぶことができます。

カリキュラム例 Curriculum

人間文化学科

■ 人間基礎論コース

西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、神話と比較思想、宗教哲学、宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認知心理学、発達心理学

■ 地域変動論コース

日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理学、自然地理学、方言学

■ 言語表象論コース

平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文学、ドイツ文学・文化、フランス文学

国際社会コミュニケーション学科

■ 国際コミュニケーションコース

異文化間コミュニケーション論、比較文化論(日英米独仏中)、文化史、文化論、オーラルコミュニケーション、文章作成研究、第2言語習得論、日本語教育法、実験音声学、英語、フランス語、ドイツ語、中国語

■ 国際社会交流論コース

メディア文化論、社会文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本文化論、アメリカ文化論、ヨーロッパ文化論、中国社会文化論、大衆文化論、現代演劇論、世界経済論、西洋経済史

社会経済学科

■ 総合地域政策コース

経済政策、財政学、地方財政論、地域経済論、労働経済論、福祉経済論、環境経済学、公益事業論、国際経済論、開発経済論、比較経済社会論、地域社会学、憲法、民法、刑法、自治行政法、経済法、政治学、地域生活と政策、地域ジャーナリズム論

■ 経済企業情報コース

ミクロ経済学、マクロ経済学、資本主義システム論、統計学、計量経済学、金融論、国際金融論、流通経済論、日本経済史、経営学、経営管理論、会計学原理、原価計算論、簿記原理、商法、企業情報システム論、新産業創造論、証券投資論、パーソナル・ファイナンス論、ファイナンシャル・プランニング概論

変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。

混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の準拠枠にとらわれることなく、

柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。

本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間にかかわる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、

人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会のなかで生じてくる

様々な課題に対処し、より善い将来を自らの手で築きうる、

活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。

人間基礎論コース

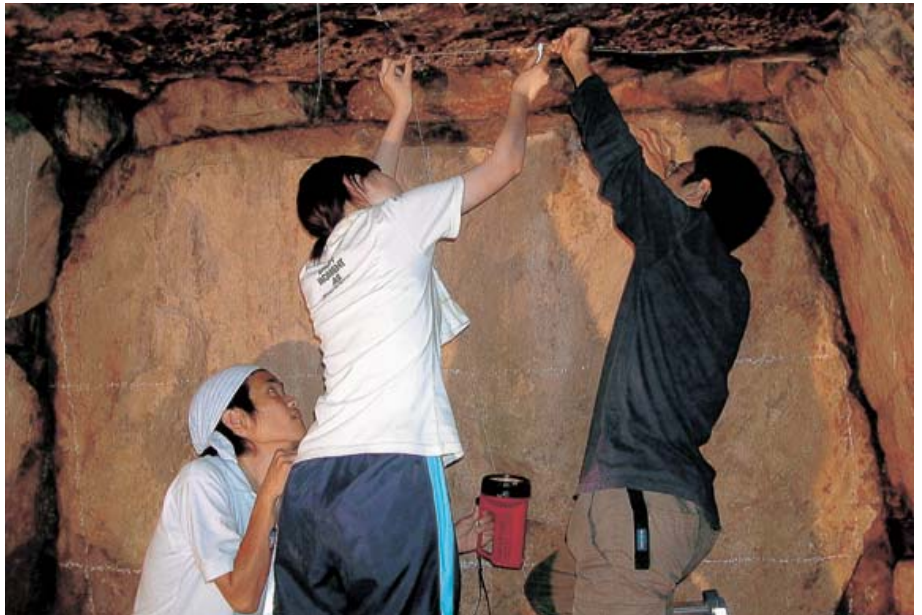
社会生活が複雑さを増すほど、人間の本質への省察もまた必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学などの分野を学びながら、人間の精神活動・言語・認知・思想・行動に関する認識を深め、文化をつくると同時に文化によってつくられる人間存在をトータルにとらえる洞察力の育成をはかります。

地域変動論コース

世界の各地域に生成・変動する社会・文化の特質や構造を歴史的な視点から理解するとともに、人間が生活する場としての地域が持つ固有の民俗・方言・自然などの文化的環境について学習し、人間の「生」の重層的な把握を目指します。主として、日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学などの分野を学ぶことができます。

言語表象論コース

文化のエッセンスは言語表象にあらわれます。日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・ドイツ文学・フランス文学など、各地域固有の言語文化を学ぶとともに、それらの比較対照によって文化現象を相対的にとらえる視点の獲得に努め、そのことを通じて、多様な文化事象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、大学院進学など、進路は多種多様です。民間への主な就職先としては、流通サービス業、金融・保険機関、旅行代理店、情報処理関連企業のほか、新聞社、テレビ局、広告業などのマスコミ関係があげられます。

さまざまな視点から、「地球社会」にアプローチする

今、国際化・情報化の波は大きく押し寄せています。

この学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、「情報」をベースに多文化的な観点から「国際社会」にアプローチし、コミュニケーション能力と、総合的な思考力・創造力をあわせ持った「国際人」の養成を目指します。

国際化のうねりのなかで真に求められているもの、それを学生は主体的に学び取ることになるでしょう。

わたしたちの学科は、多元的な教育システムのもと、優秀なスタッフが学生の主体性に応えていきます。

日本語教員の養成課程も用意されています。

国際コミュニケーションコース

国際化が進行する社会のなかで必要とされる、異文化間の相互理解への能力を養っていきます。異文化間のコミュニケーションには、実践的なコミュニケーション能力はもちろん、異文化への理解、さらにインターネットに見られるような情報発信能力が求められます。このコースは、こうした総合的なコミュニケーション能力の養成を目指しています。

国際社会交流論コース

環境問題、民族・宗教紛争、あるいは巨大経済機構の出現。今こそ地球的規模の対応が求められています。このコースは、人文・社会科学の諸領域を自由に行き来し、そのなかで的確な情報処理能力を基盤に、地球社会というひとつのシステムを担っていくにふさわしい、幅広い視野と思考力を兼ね備えた人材の養成を目指しています。



卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、さらに大学院への進学など、進路は多種多様です。民間企業では、商社や流通業界、各製造業界、銀行、証券会社、保険会社、旅行会社のほか、テレビ局や新聞社、広告業界などのマスコミ関係があります。また、国際機関の職員、さらに日本語教師への道もあります。

幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人を養成する

世界経済、日本経済、地域経済は21世紀、大きな変動に直面しています。社会経済学科では新しいこれらの社会的諸問題に対して、その解決策を企画・立案・実行できる専門的職業人を養成することを目指しています。特に、成熟化・高齢化・少子化社会、高度情報化している状況を踏まえて、日本と地域社会の問題を真正面から学習することを目指しています。

総合地域政策コース

総合地域政策コースでは、地域社会に関する政策立案能力を持った学生を養成します。今日の地域経済は、国内的にも国際的にも直接相互に関連し合う主体性を持った地域に生まれ変わることが求められています。また、21世紀は地方分権の時代とも言われています。このような時代に、経済学、社会学、財政学、法学等の諸科学を総合し、地域の総合的な政策を勉強します。

経済企業情報コース

経済企業情報コースでは、高度情報化社会に対応した企業活動・経済環境に関する教育研究を行います。今日すでに高度情報化社会が到来しており、この分野の新しい産業が次々と生まれています。そしてこのコースではこうした新しい時代に対応した、企業経営の分析や、経済分析を行う人材を養成します。



卒業後の進路

社会経済学科は幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人・企業人を養成します。民間企業をはじめ公務員、教員への就職の道があります。また近年は大学院に進学する人も増えています。

混沌の中から 発見が生まれる。

中澤純治助教 + 恒石勇太



世の中に起こっている問題を解決したい

恒石 僕は高知生まれの高知育ち。地域に恩返しができるいいなと思って高知大にきましたが、実際それをどういう方法で実現できるのか、全く自分ではわからなかった。それで中澤先生の研究室に入りました。

中澤 わたしの専門は政策科学といって、世の中に起こっている問題を発見し、その解決にこだわって方をプランニングしようという学問です。いま対象としている問題は地域経済ですが、経済学だから経済的アプローチというのではなく、いろんなアプローチを科学的に組み合わせていこうという考え方でやっています。

恒石 社会経済学科には社会協働型教育※という、地域に出かけていって地域の方々と一緒に問題解決をしていく教育プログラムがあって、僕は3年生のゼミで4人の仲間と一緒に海洋深層水の経済効果について研究活動を行いました。地域でのヒアリングなどは自分たちでアポイントをとって企業や役所に出かけて行きました。行ったところは高知、富山、石川。いずれも日本で海洋深層水を採用している地域です。遠方もありましたが、まあ1泊4日とかで(笑)。

中澤 実は彼らのプロジェクト、ある出版社から、もう少しきちんとまとめて出版したらどうかという話も来ているんです。卒論が終わってから手をつけようかと話しているところです。

※社会協働型教育では、ゼミ活動などで集まった学生達が高知県各地をフィールドにさまざまなプロジェクトを展開する高知大学ならではの取り組みで、地域からの反響も大きい。

ゼミって90分で終わるものなのか?!

恒石 中澤先生のゼミはとてもユニークなんです。ふつうのゼミは90分。でもうちの場合は終わらない。

中澤 最低、3時間?

恒石 長いときは午後3時から始まって終わるの午後10時とか、日が変わる時も!(笑)

中澤 おもしろいのが、彼らも最初はしんどそうな顔をしていたのにどんどん麻痺してきて、8時くらいに終わると「ああ、今日は早いなあ」と(笑)。

恒石 ゼミなんて初めてだから、どこもこんなもんだらうと思っていたら、他のところは90分で終わっていると聞いてびっくり! その長い時間の中身はというと、研究の話、いろんな話、また研究の話...のエンドレスなんです、その無駄話とも思えるような中から新しい発見が出てくる。その繰り返しです。

中澤 まさに混沌だなあ...

恒石 ゼミの中で議論をすることで、いろんな人の見方を自分の中に吸収して、また自分なりの新たな見方をつくっていく。それがここで得た財産かなと思っています。

中澤 教員と学生の距離もびっくりするくらい近い。柔軟でオープンな環境です。あんまり学生が頻繁に来るので、先生方はみんな「おもしろいネタを持っているなら入れ、世間話なら帰れ」と言っています(笑)。

恒石 人文学部の個性は学科によって多少違いますが、先生方がいつでもこい!という感じで受け入れてくれる。そんな自由でフラットな雰囲気です。

Profile

プロフィール



中澤 純治助教

社会経済学科

経済企業情報コース

【代表的な研究】

- 地域経済の産業構造の分析
- 地域政策の経済的評価
- 地域活性化政策の策定



恒石 勇太

社会経済学科

経済企業情報コース 4年生

高知県出身

【研究テーマ】

産業クラスター論からみた高知県の海洋深層水産業について

Close up

研究が評価された!



恒石くん達のチームが行った海洋深層水の研究活動は、社会協働型教育の優秀なプロジェクトの一つとして大学の冊子にも紹介された。今後、中澤先生の指導のもと報告書をまとめおし、出版される予定。

教育学部

Faculty of Education

「人が人らしく生きる」場面に
深くかかわり合う

課程名

■学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 障害児教育コース
- 教育方法コース
- 教育内容コース

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース(生活系、環境情報系)

取得できる資格

■学校教育教員養成課程

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状
(教科)国語・社会・数学・理科・音楽・美術
保健体育・技術・家庭・英語
- 高等学校教諭一種免許状
(教科)国語・地理歴史・公民・数学・理科
音楽・美術・書道・保健体育・家庭
英語
- 養護学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 学芸員

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
 - 中学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 高等学校教諭一種免許状(音楽・美術
工芸)
 - 学芸員
- スポーツ科学コース
 - 中学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 学芸員
- 生活環境コース
 - 中学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 高等学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 学芸員

求める学生像 Admission Policy

教育学部は、地域社会との連携を通じた自由で創造的な研究・教育を基本とし、
学部の特性として子どもと触れ合い、子どもの心がわかる教員の養成を目指しています。
また、日本有数の高齢化県である高知県に立地する学部の特性として、
これからの長寿社会における豊かな生活環境の創造のために貢献できる
人材の育成を目指します。

学校教育教員養成課程

豊かな生活や遊びに関する体験を持ち、積極的に地域や子どもと触れ合い、仲間づくりを通してコミュニケーションを高めることができる学生を求めます。また、教員希望の学生として、幅広く、そして深い知識・技能を身につけるために適切な努力ができ、進んで教育の真の意義を見いだせる力を持った人を求めます。

生涯教育課程

これからの社会にふさわしい高度の専門性を身につけて、文化や芸術・スポーツの創造発展を目指し、社会環境や人間生活の向上に寄与しようとする意欲のある学生を求めます。

●芸術文化コース

自由な発想や新鮮なアイデアによる音楽や美術に関わる表現活動や文化の創造発展を目指し、芸術・文化環境の向上のために努力できる学生を求めます。

●スポーツ科学コース

これからの長寿社会の中で、スポーツの発展や、スポーツを通じて健康で充実した人間生活の実現に寄与できる学生を求めます。

●生活環境コース

変化する生活環境や発達した情報化社会にふさわしい専門性を通して、社会環境や人間生活の向上に寄与できる学生を求めます。



自由でのびやかな雰囲気と徹底した少人数制のもと、
学校教育はもちろんのこと、生涯教育の分野まで幅広いコースが用意されています。

カリキュラム例 Curriculum

学校教育教員養成課程

■ 教職に関する科目

教職入門、同和教育論、道徳教育、特別活動指導法、教育の方法・技術、生徒指導、教育相談、各教科初等指導法、各教科中等指導法、教育実習(小・中・高・幼)

■ 小学校教科に関する科目

小学国語、初等社会科、初等数学、初等理科、こどもの生活と環境、初等音楽、初等図工、家庭科概論、小学校体育

■ 中学校教科に関する科目

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目

■ 特殊教育に関する科目

障害児教育入門、障害児教育概論、障害児心理学、大脳生理学、障害児精神病理学、障害児教育課程論、障害児指導法、障害児教育の方法・技術、障害児指導表現論、障害児教育基礎演習、障害児教育特講、障害児教育実習

■ 課程共通科目

情報教育I、人権教育、障害児者問題入門、高知県の教育、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習概論、社会教育計画、応用実習、インターンシップ、実践論(フレンドシップ)

生涯教育課程

■ 芸術文化コース

サウンドクラフト、デッサン、グラフィックス、造形、音楽基礎論、ソルフェージュ、音楽実技、地域芸能・文化、中国芸術・文化、書道、西洋画、日本画、デザイン、木材工芸、金属工芸、美術理論、民族音楽・文化、日本音楽・文化、声楽、器楽、合奏、合唱

■ スポーツ科学コース

生涯スポーツ論、スポーツ運動学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ指導論、スポーツ健康論、スポーツマネジメント論、スポーツ社会史、スポーツ心理学、身体表現論、トレーニング論、救急処置法、健康生活論、身体発達論、スポーツ実技(個人・対人・集団)、キャンプ実習、海浜スポーツ実習、スキー実習

■ 生活環境コース

被服管理学、住環境学、食生活論、生活環境教育論、地域社会学概論、社会調査法、環境技術概論、環境情報、生物環境学、計算機言語、被服学概論、被服心理学、住生活学、住環境計画論、食物学概論、調理実習、生活機器論、家庭経営学、都市地理学、政治学、社会学、経済学、物理学概論、化学概論、生物学概論、動物学概論、地学概論、地球電磁気学、栽培、数値計算法、応用数値計算、計算機実験学、画像情報処理

こどもたちに豊かな人間教育を

小学校及び中学校（あるいは養護学校）の教員養成を一体的に行うことを特色としています。

幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、

さらに教科の専門的な科目を体系的に学習できるようになっています。

3年生で附属小学校、附属中学校、附属養護学校で教育実習を体験します。

子どもたちとの交流の中で大学で身につけた理論と実践力に

さらに磨きをかけ、未来の教師としての自覚を高めていきます。

本課程では、小学校一種免許に加えて、中学校二種または養護学校一種免許の取得が必要です。

教育科学コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、教職に関連する教育学や心理学などの専門的な学習と研究を深め理論と実践の両面にわたっての教員養成を目指します。2年生から、教育学あるいは心理学担当教員の指導のもとに、演習や卒業論文作成などによって、学習と研究を深めます。

障害児教育コース

本コースは、小学校教員免許取得の上に主に知的障害の子どもを教育する教員の育成を目的としています。障害児教育に関する専門の講義に加え、身体やリズムなどの表現指導、障害児の発達診断などの実技、少人数のゼミ演習があります。学生はボランティア活動に参加したり、隣接する附属養護学校の教育実習など子どもたちと接する機会を多くもてるのが特徴です。子どもたちとの関わりを通して理論と実践的な学習を深めます。

教育方法コース

本コースの目標は、教科の内容をどのようにすれば児童・生徒に分かりやすく、興味を持って伝えられるかにあります。専門教員の指導のもと、各教科の教科教育学を足場として、理論と実践によってその目標に可能な限り近づくことができます。希望と自信を抱いて教壇へ立つことができ、教育の現場で十分に力の発揮できる教員の要請を目指します。

教育内容コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、幅広い視野に立って、個別教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）の内容を深く掘り下げ、生涯学習社会に対応できる新しいタイプの教員養成を目指します。2年生からそれぞれの教科の専門の教員のもとで学習と研究を深めます。



免許状について

- 卒業要件に含まれる免許状
小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状または
養護学校教諭一種免許状
- 履修の仕方によって取得可能な免許状
幼稚園教諭一種免許状
中学校教諭一種免許状
高等学校教諭一種免許状
養護学校教諭一種免許状

卒業後の進路

小学校・中学校、障害児諸学校・高等学校の教員となる場合がほとんどですが、最近では公務員、あるいは教育関連産業をはじめ、一般企業への就職者が増えています。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習・研究するために大学院教育学研究科（修士課程）へ進学する学生が増えています。



幅広い教養と総合的な知識を育み、社会のニーズに応える

生涯学習社会、情報化社会をむかえて多くの課題があります。

また、芸術・スポーツ活動による健康で文化的な生活の確立、地球環境、生活環境をめぐる

いろいろな問題にも直面しています。

豊かな感性と人間的交流と諸科学の学習をもとにした幅広い教養と柔軟な思考力と

高度な技術力を身につけた人材が求められています。

本課程では、このような社会的な要請に応えるために3つのコースを設けました。

教員の養成を目的とするものではありませんが、履修の仕方によっては、教員免許状を取得することができます。

芸術文化コース

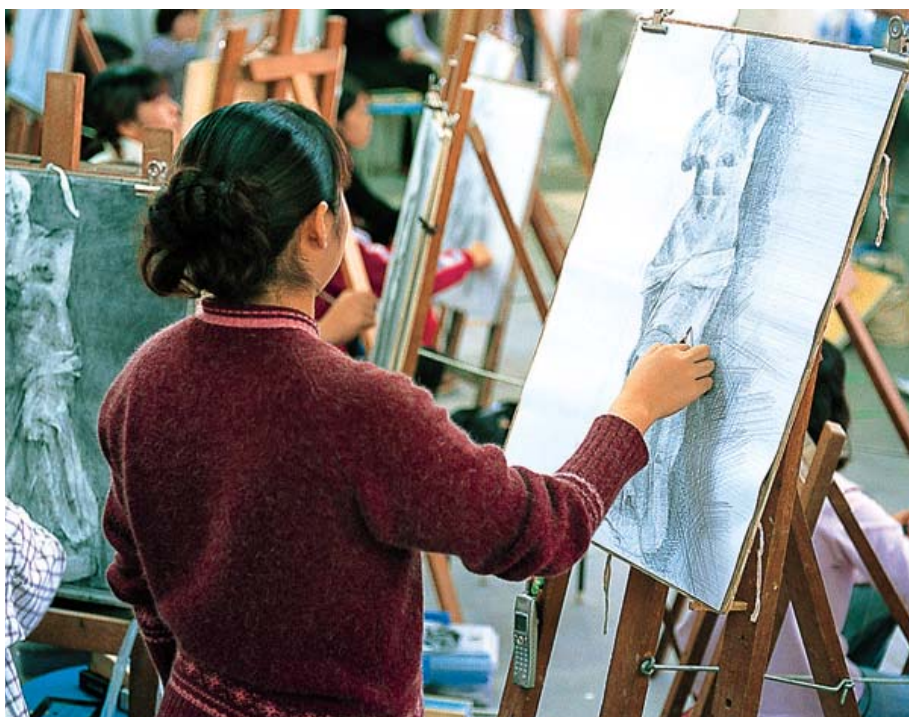
本コースは、美術工芸と音楽を中心とした芸術表現に関わる領域を幅広く学んだ上で、主として芸術家と芸術文化に関する社会教育の指導者などを養成するコースです。1・2年生ではコース共通の基礎や専門の授業科目が用意されていますので、総合的に芸術全般にわたっての知識や技術を身につけることができます。

スポーツ科学コース

本コースは、ハイレベルの競技力を支えるコーチ、トレーナー、そしてマネージメントに関わる指導者と生涯・健康スポーツの指導者を養成します。まず基本的な実技と自然科学や社会科学に基づくスポーツ諸科学を学び、学年の進捗と共に少人数体制のもとで各人の関心や興味を深めスポーツの専門家としての教育・研究能力を高めます。

生活環境コース

本コースでは、生活環境問題を多角的に学び、新たな時代にふさわしい生活環境の創造に必要な知識・技術を学びます。「生活系」では現代の生活環境問題を、生活科学及び社会科学の視点から分析的・総合的に学びます。「環境情報系」では環境を科学・技術的側面からとらえ、私達をとりまく自然界に目を向け、さらに私達の生活を便利・安全にするための工夫について学びます。



免許状について

- 履修の仕方によって取得可能な免許状
中学校教諭一種免許状
(音楽・美術・保健体育・家庭・理科)
高等学校教諭一種免許状
(音楽・美術・工芸・保健体育・家庭・理科)

卒業後の進路

芸術文化コースでは、各種デザイン、印刷関連、企画会社等の一般企業や美術館学芸員、文化施設・公民館職員等があります。また、スポーツ科学コースでは、リゾート施設や福祉厚生施設、市町村及び商業スポーツ施設の指導員があり、生活環境コースでは、衣食住関連企業もしくは情報関連企業、環境・地域計画コンサルタント、消費生活・ファッションアドバイザーなどがあります。そして、各コース共通の進路として、教員や公務員があげられます。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習、研究したい場合には大学院教育学研究科(修士課程)へ進学することも可能です。





原点になるのは自分自身の体験です。

國府俊一郎教授 + 清水能互

学ぶ側の自由度が大きいのが、大学

國府 大学というのは、高等学校までと比べると学ぶ側の自由度がはるかに大きいところ。でも自分がやる気になって、自分で門をたく必要がある。そこが高校までといちばん違うところでしょうね。これまでの教育を息苦しく感じていたような人、高校までは“変わり者”だったような人が、大学には適性があるかもしれない(笑)。

清水 僕は小学校の教員になりたくて高知大学に来ましたが、中でも特に理科教育、物理が好きで、國府先生の顔も知らないまま2年生の終わりにこの研究室を訪ねました。

國府 高知大学は、1対1の関係が取りやすいんです。縦割のがっちりした講座制を持っている大学も多くあり、そこではしばしば先生には、簡単にものが言いにくい。でもここは何でもありのデパートみたいで、おもしろい。いろんな専門家と話すチャンスがある。わたしも最初来たときは「異文化」でしたが(笑)。

清水 教育学部の特徴は、なんといっても人間関係の深さです。僕の課程にはいま110名いますが、全員で何かやろう!というような活動も盛んです。みんなお互いに尊重しあえる関係かな。他大学の友達の話も聞きますが、そんな大学他にない! 人間関係を形成する場としてはすごく恵まれていると思います。

授業では「実体験」を大切に

國府 理科教育の学生実験では、小・中・高校の授業で使う実験教材をどういうものにすればいいか、ということを考えています。例えばデジタルカメラの連写機能で物理運動の様子を撮影

し、そこに軌道を描かせて教材に応用する方法を探ったり。最近の学生は教科書で取り上げられていても実際に自分の目で見て手で触って、実験して納得する機会が少なくなっています。将来教員になった時、知識だけで教えるのと実際に経験した上で教えるのとは絶対に違うはず。また彼らが興味を持てる教材を作ることができれば、生徒となる子ども達の理科離れも減らすことができるかもしれません。そのあたりをテーマに、教員同士がローテーションを組んで実践的な新しい学生実験の方向を探っています。

清水 理科離れの問題は、現場の教員自身にも起こっていると聞きます。僕は小さい時からものづくりが好きで、ラジオやミニ四駆の組立などをよくやっていました。そういった物理や理科のおもしろさを、僕は子ども達に伝えたい。教育実習に行った時は実際に國府先生の教えを活かして、リトマス試験紙でいろんな液体を調べるといった実験をやりました。シャンプーとか石鹸水とか、身近なところから入ったので子ども達の反応もすごくよかったです。興味の入り口になれば嬉しいですね。

國府 清水くんには持って生まれた人好きのする性格があるんです。それにきっちりしている。彼にはTA(ティーチング・アシスタント※)としても活躍してもらっていますが、わたしよりも彼の方が下級生の細かいことも把握していて、ついまかせてしまうくらい(笑)。将来に期待しています。

※ TA(ティーチング・アシスタント制度)
上級生が下級生に対する助言や実験・実習・演習等の教育補助業務を行い、これに対して手当を支給する制度。本学教育学部ではいま導入を進めています。

Profile

プロフィール



こう 國府 俊一郎教授

理科教育 物理学

[代表的な研究]

- 量子凝縮(超伝導、超流動)
- 原子核多体問題
- 構造相転移



よしのぶ 清水 能互

学校教育教員養成課程 3年生

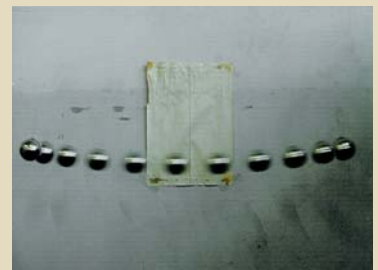
兵庫県出身

[研究テーマ]

物理分野での視覚的な理解方法の開発

Close up

学生実験で作った教材



目前で動いているものの速度がどう違うのかを体験するため、振り子運動をデジカメで撮影。「これを素材に小・中・高校、どのレベルでも面白い教材にできます」と國府先生。

壮大なスケールの世界を
基礎から応用まで解き明かす

学科名

■数理情報科学科

- 数理科学コース
- 情報科学コース

■物質科学科

- 物質基礎科学コース
- 物質変換科学コース
- 生体機能物質工学コース

■自然環境科学科

- 生物科学コース
- 地球史環境科学コース
- 防災科学コース

※理学部は平成19年度、学部改組を計画しています。

取得できる資格

■数理情報科学科

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 学芸員

■物質科学科、自然環境科学科

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 学芸員

求める学生像 Admission Policy

理学部は、数学的思考力・英語力・情報処理能力を土台にして、

情報・材料・生命・環境・海洋・資源等の広範な分野で専門教育を実施し、

地域国際社会に通用する専門職業人を養成します。

このため、高等学校の教科書を万遍なく履修した上で、数学と理科の基礎学力に優れ、

自然に対する好奇心や探究心を持つ学生を求めています。

数理情報科学科

●数理科学コース

数学に興味を持ち、数学を一生の仕事あるいは友としたい学生、数学の基本的な思考法と技術を身につけて他の分野へ進みたい学生、教員になって中学・高校で数学を教えたいと考えている学生を求めます。

●情報科学コース

情報通信技術(IT)に興味を持ち、コンピュータに関する基礎的理解から柔軟な応用力まで会得したい学生、情報科学という広範な学問分野のさらなる開拓と新しい応用分野の創造に参加したい学生を求めます。

物質科学科

●物質基礎科学コース

自然現象の本質的法則に興味を持ち、その理解に意欲的な学生、物理や化学の実験が好きで、データ解析やもの作りに熱中することのできる学生、また物理や化学の基礎を学び、将来、物質開発研究、教員などの職業に生かしたいと考えている学生を求めます。

●物質変換科学コース

大学で積極的に化学を学ぼうとする意欲があり、科学技術の発展に貢献しようと考えている学生、自然科学に関して知的好奇心があり、化学物質の変化や応用について興味があり、その本質について探求心旺盛な学生、実験が好きで、独創的発想能力や深い洞察力を身につけたいと考えている学生を求めます。

●生体機能物質工学コース

生命現象を分子レベルで解き明かそうという強い熱意を持った学生、生物学にも化学にも強い関心がある学生、どうしてだろう何故だろうと考えることが好きな学生、実験が好きで、チャレンジ精神の旺盛な学生を求めます。



国際的に高く評価される研究成果が数多く発表されるなど、研究活動も活発。

自然環境科学科

●生物科学コース

生物の多様な存在様式や活動及びそれらを支えている生命機構に関して、分子・細胞レベルから個体や集団レベルに至る総合的学習を目指す学生、環境と生物との関わり合いに興味を持ち、さらなる専門性を身につけたいと考えている学生を求めます。

●地球史環境科学コース

地学分野に向学心を持ち、地球史46億年をひも解く知的好奇心を持つ学生、自然と人間の関わり合い(地球環境)を理解しようという意欲を持つ学生を求めます。

●防災科学コース

防災科学コースは、地球諸科学に底流する理学的思考と方法を基礎に、防災という工学的課題の解決にチャレンジする「地球の医学部」です。各地域のことを熟知し、防災を扱う地球ドクター志望の学生を求めます。また、大気現象に関心があり、未知への探求・解明に自主的に取り組める学生を求めます。

理学部は平成19年度、学部改組を計画しています。

理学部は、平成19年度に学部改組を計画しています。平成18年度までは数理情報科学科、物質科学科、自然環境科学科の3学科制でしたが、この計画では平成19年度から基礎分野と応用分野の2学科制とし、数学、物理科学、化学、生物科学、地球科学5コースと、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学4コースに明確に区分した教育体制にする予定としています。

入試選抜方法は学部一括とし、入学後の1年次末に所属する教育コース・専攻を選択し、2年次末に副専攻を選択することで、他コースが開設する科目群を履修することもできる体制となる予定です。なお、今後の検討状況で変更の可能性もあります。

カリキュラム例 Curriculum

数理情報科学科

●数理科学コース

数学概論、線形代数学、数理情報ゼミナール、数理科学英語ゼミナール、解析学、幾何学、代数学、統計学、解析学特論、幾何学特論、代数学特論、統計学特論

●情報科学コース

計算機システム学C、アルゴリズムとデータ構造C、プログラム言語論、コンパイラ構成法、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、データベース論、人工知能理論、離散数学、画像処理論、デジタル回路実験、大規模論理回路設計

物質科学科

●物質基礎科学コース

力学、電磁気学、熱力学C、物理数学C、物理化学C、統計力学、量子力学、固体物理学、物性化学、物質平衡論、構造物質化学、X線結晶学

●物質変換科学コース

有機化学、無機化学、分析化学、反応速度論、機器分析学、電気分析化学、機能物質化学、錯体化学、量子化学、水熱科学、物質変換科学実験、物質変換科学英語ゼミナール

●生体機能物質工学コース

生化学C、発生生物学C、有機化学C、物質科学実験CⅢ、タンパク質科学、分子生物学、生物有機化学Ⅰ・Ⅱ、機能生物化学、細胞工学、進化生物学、生体機能物質工学実験Ⅰ・Ⅱ、生体機能物質工学演習Ⅰ・Ⅱ

自然環境科学科

●生物科学コース

動物生理学C、細胞生物学C、植物分類学C、動物分類学C、生態学C、生理化学、海洋環境学、植物分類学実験、海洋生物学実験、植物生態学実験、動物生理学実験、細胞生物学実験

●地球史環境科学コース

野外調査法C、地球史環境科学C、隕石と地球C、造岩鉱物学C、資源地学、海洋地質学、古生物学、海洋観測法、層位古生物学実習、岩石学実習、鉱物学実習、野外巡検Ⅰ・Ⅱ

●防災科学コース

地球惑星科学C、防災科学C、地震と活断層C、野外調査法C、地球観測学、連続体力学、物理探査法、地盤基礎科学、地震物質学、地球動力学、風環境工学、付加体災害科学

人間的歓喜を呼び起こす自然科学の知の源「数学」と 科学を支え・未来を変える力「情報」との融合

高校での学習を基盤として、さらに必要な基礎学力をつけた後、

数学を主とするコースと情報科学を主とするコースに分かれて

専門的能力を高めます。

学術から産業まで広く必要とされる数理に明るい人材、

高度情報化社会に求められる人材の養成を目指します。

数理科学コース

自然科学や情報科学などの諸分野での発展を支えた理論が数学に基礎を置いていることはよく知られている事実です。数学的である、あるいは論理的であることは全ての科学に携わる人々に必然的に求められています。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の修得と十分な数学的・論理的訓練とが必要です。数理科学コースではそれらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ数学の基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学などの基礎的な概念をまずは学習・獲得し、広範な応用を視野に入れた更に深い内容に進み、総仕上げとしての卒業研究に至るまでの数学教育を行います。

情報科学コース

情報科学は今日では多くの分野でその成果が活用され、科学技術の新たな学問の創出やその発展に貢献しています。この観点を踏まえて、情報科学コースでは、情報基礎学、情報数理学、計算機科学、情報処理学の各分野での教育研究を通じて、高度情報社会が求めるネットワーク、分散処理、アルゴリズム、システム、デバイス、数理構造の予測と発見、自然科学への応用などコンピュータソフトウェア、ハードウェアに関する幅広い専門知識と総合的な応用能力をもった人材の育成を目指しています。

▶ URL <http://www.math.kochi-u.ac.jp/>
<http://www.is.kochi-u.ac.jp/>

卒業後の進路

国家・地方公務員のほか、中学・高等学校教員、企業（情報・通信、コンピュータ関係、金融等）があります。

また、本大学の大学院理学研究科（博士前期・後期課程）や他大学の大学院へ進学して、研究者としての道を目指す卒業生も増えていきます。



物質科学世界への知的冒険者たらんと!

物質の極微の世界、変幻自在の物質そして生命を担う物質とは。

物質を支配する基本法則、法則に基づいた現象の理解そして応用へと。

わたしたちは、物質の様々な姿に様々な理論的・実験的方法で迫り、物質の全体像を理解するために、

旧来の学問分野にとらわれない融合型のニューフロンティアを形成しました。

物質科学科は物質基礎科学、物質変換科学及び生体機能物質工学の3つの大講座名を持つ教育コースから構成されます。

新しい教育課程のもとで、教養・専門にわたる科目を幅広く学び同時に豊かな人間性を培いながら、

いずれかの専門専攻コースに所属して研鑽します。

4年生では研究室に所属して、より専門性を深めた卒業研究を行います。

このようにして、物質科学の最先端を目指して知的冒険の船出をすることになります。

奥深い自然が織りなす未知の美しさとの遭遇を期待しつつ。

物質基礎科学コース

素粒子から原子核、原子・分子の集合体としての固体、物質まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを学びます。具体的には、素粒子やハドロン・原子核の基礎理論を教育研究する分野。素粒子間相互作用や電磁的非線形現象を実験的に教育研究する分野。固体物質の電気、磁気、光、熱的諸性質を理論あるいは実験的に教育研究する分野。物質合成、物質構造解析、物質構造と物性・機能の相関性を実験的に教育研究する分野などがあります。

これらの教育研究活動を通じて、物質の諸性質を基礎に立ち返って見る目を養い、最先端の研究に応用する力を磨きます。

物質変換科学コース

私たちの身の回りの物質は、100種あまりの元素の組み合わせでできあがっています。組み合わせかた次第で千差万別の物質が生まれ、各々に個性的性質を現すようになります。しかも、それらの組み合わせは固定されたものではありません。様々な変換をおこなって、新物質を生み出すこともできます。

本コースでは、物質の変換メカニズムを解明し、新しい有機・無機化合物の合成法、分子設計、分析法などについて、触媒や機能性物質なども視野に入れて教育研究を行います。現代社会が要求している新物質の創製を目指し、物質変換にかかわる基礎と応用についての幅広い教育研究を行い、物質科学の専門知識を備え、社会の要請に柔軟に対応できる21世紀に活躍する人材を育成する事を目指しています。

生体機能物質工学コース

生物の体内あるいは体外には、脂質やステロイドなどの低分子からタンパク質やDNAなどの高分子まで、様々な機能性分子が存在します。それらが複雑に関連しあつてさらに高次な構造と機能を生み出しています。生体機能物質工学コースでは、生体分子の分離・精製、構造解析、動物の発生の仕組み、細胞の機能、タンパク質の機能改変、分子進化、天然物の有機合成などの講義・実習・演習・卒業研究が用意されています。これらを段階的に受講することによって、生体物質の基礎解析から応用研究までを体系的に学ぶことができます。大学院に進学し、さらに深く研究することもできます。卒業後には、製薬会社・バイオテクノロジー関連企業・研究職・教育職などの幅広い分野での活躍が期待されています。本コースは従来の天然物化学、生物有機化学、生化学、分子生物学、遺伝子工学、発酵工学等の研究分野を包含しています。



▶ URL <http://www.sc.kochi-u.ac.jp/~apply/>

卒業後の進路

幅広い分野の企業（コンピュータ関連、情報・通信、エレクトロニクス、化学、電機、機械、鉄鋼、建設、食品、薬品、医療用産業、遺伝子産業、装置産業、環境調査関連産業など）への就職が可能です。また、官公庁の技術者及び研究者、中学・高等学校教員を目指すこともできます。その他に、本大学の大学院理学研究科（博士前期・後期課程）や他大学の大学院へ進学する学生も多くなってきています。

複雑で多様な生物の世界 ダイナミックな地球の歴史に挑む

太陽の光かがやく南四国には、石鎚・剣山系を背後にして黒潮洗う太平洋が大きくひろがり、四万十川などの清流が悠々と流れています。

これらが一体となって、厳しくとも豊かで美しい自然環境に恵まれています。

そこで育まれる多くの生き物たちとともに展開される様々な自然現象は、自然科学の研究対象として尽きることのない興味を抱かせてくれます。

自然環境科学科は、生物科学、地球史環境科学、防災科学の3つの大講座(教育コース)で構成されています。

本学科では多様な生物の生き方、自然環境のダイナミックな変化、

及びそれらを創造してきた地球システムの発達過程を総合的に研究・教育し、

自然と人類との共生に向かって取り組んでいくことができる

能力を備えた人材の養成を目指しています。

生物科学コース

生物科学大講座(本コース)では、生物が「どのように生きているのか」「どのように進化してきたのか」「環境からどのような影響を受け、またどのような影響を与えているのか」など、生物の分類や系統進化、生態、細胞の形づくり、動物の行動などについての様々な謎に迫るユニークな研究活動を行っています。本コースでは最新の機器類を使った実験や、野外実習に重点を置いた総合的な教育を目指しており、学生と教員が研究の喜びを共有する人間的なふれあいを大切にしています。

地球史環境科学コース

地球史環境科学は、ダイナミックな地球の歴史の解明に挑む分野です。最新の地球科学をもとに、地球表層システム、とりわけ岩石圏、水圏の相互関係の理解を進めています。固体地球の分野では、火成岩や変成岩の成因論や、地殻・マントルの形成及び発達過程を解明しつつあります。地球環境の分野では、堆積相や化石の解析から過去の地球のようすを、海洋底堆積物の解析から海洋環境変遷などを探っています。また、応用的にセラミックスの原料物質である粘土鉱物の生成条件の解明や合成実験も行っています。

防災科学コース

自然現象としての地震、集中豪雨や突風などの気象災害、斜面崩壊は、地球変動の一側面でもあります。この変動の過去から現在への法則性を読み、現在の観測データを加えて災害発生メカニズムを解明します。この長期・短期の変動に人間社会がどのように向きあえばよいか、その方策を考えます。

本コースでは学生と教員が一体となって、フィールドでの観察・試料採取、風洞実験やシミュレーションなどを行います。



▶ URL <http://sc1.cc.kochi-u.ac.jp/>

卒業後の進路

本学科の卒業生の進路には、企業(製薬、食品、地質・環境コンサルタント、建設業、流通業、情報産業等)や官公庁の研究者・技術者のほか、中学・高等学校教員や大学院進学等があり、幅広く多彩な分野での活躍が期待されます。

自然の中に事実はある。 それをいかに捉えるか。

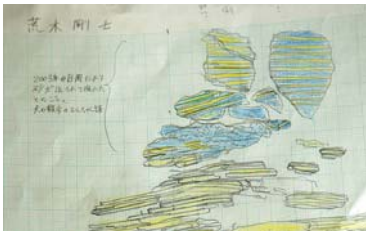
岡村眞教授 + 荒木剛士



世界有数のフィールド

荒木 僕が防災科学を選んだのは、せっかく高知県で勉強するのなら高知独自の研究をしたいと考えたからです。地震は海洋プレートが大陸プレートに沈み込む部分、付加帯で起こりますが、ここはその付加帯があり、海底活断層の研究をするには世界一といってもいいくらいのフィールドです。

岡村 だから全て現場。現場で考える。海なら自分達で4トラックを運転して掘削の機械を運び、クレーン台船をチャーターして海の中から試料をとってくる。陸なら歩いて回ってデータをとる。全部自分たちでやるので、岡村土研と呼ばれています(笑)。で、これが彼のフィールド調査。(と、調査図を出す)



荒木 あ〜〜!!!

岡村 いいよ、君のなかなかよく描けてたよ。これはどういう地層がどういふに分布しているのか、どういう種類のものがたまっていたかなどを現場を見て描いたもの。彼はこれが初めての調査で、相当苦労したはず。

荒木 県東部の大山岬に行ったのですが、いきなり「はい、スタート!」と言われて・・・。

岡村 みんな呆然ですよ。初めてやってみて、いかに自分に自然を見る目がないかというのを実感させるのが3年生のこの実習(笑)。最初は茫洋としているが、そのうちわかってくる。自然をどう捉えるかは

その人の能力そのもの。事実はそこに出ていて、それをどれだけ正確に読み取れるか。そこが一番重要で、調査結果もそこで決まる。

荒木 読みとるには知識が必要なんです。そして現場でいかにその知識を裏付けてやるか。だから地球科学をやっている人間は友達とドライブに行っても、あのへんの山は地すべりが起きてるなとか、断層が走ってるなとか、そんなことばかり考えてます(笑)。

知りたいことがあるから、大学に来た

荒木 実は僕は、みんなより年が6つくらい上なんです。最初は別の分野を目指していた。でも自分が本当にやりたいことは何なのか、じっくり考えるようになって、時間がかかったがここに来ました。

岡村 好きだなあ、そういうの(笑)。ゼミに来るときも一直線じゃなかったんですよ、彼は。最初はストレートに地震をやりたいと言っていた。でも地震は物理現象で数学とか物理が要るのに、できないと言う。私のところは体力と観察眼があればいい、自分の能力と時間と人生のことも含めて決めなさいと言ったらここに来た。彼のいいところは自分に忠実なところなんです。自分には何ができて何ができないか、非常に冷徹に理解している。一人ひとり個性は違うし、未来にはいろんな方向がある。だから自分のいいところを見つけて、伸ばしていけばいいんです。

荒木 もし僕がこれから大学に入る人に言えることがあるとしたら、興味のあることには全部手を出してほしいということ。その中から自然と自分の道が見えてくるはずですよ。僕自身は時間がかかりましたけどね(笑)。

Profile

プロフィール



岡村 眞教授

自然環境科学科 防災科学コース
【代表的な研究】

- 活断層と地震予測
- 南海地震津波予測
- 福阿玄界灘地震調査
- トルコ・中国・ベトナム・アメリカなどの海外調査



荒木 剛士

自然環境科学科 防災科学コース 3年生
佐賀県出身
【研究テーマ】

岡村先生のゼミ在籍。防災分野だけでなく地学分野全体にも興味があり、現在研究テーマを模索中。

Close up

土佐湾は研究資料の宝庫



「日本書紀に『白鳳の地震』というのが出てきます。これはふつうの南海地震ではなく、土佐湾の中の活断層が動いた可能性が非常に高い。その時のものと思われる断層地形があって、3月に調査に出ます」と岡村先生。貴重なフィールドを抱える高知大学には、他大学からの共同研究の申し込みも多い。

人間とその病態の中に
真理を見いだす

学科名

- 医学科
- 看護学科

取得できる資格

- 医学科
 - 医師国家試験受験資格
- 看護学科
 - 看護師及び保健師の国家試験受験資格
※助産師の国家試験受験資格は得られません
 - 高等学校教諭一種免許状(看護)
 - 養護教諭一種免許状
※ただし、高等学校教諭一種免許状(看護)と養護教諭一種免許状は、在学中に必要な単位を修得した者に限り取得できます。
また、保健師免許取得後は、本人の申請により養護教諭二種免許状、及び第一種衛生管理者免許状が取得できます。

求める学生像 Admission Policy

近年におけるサイエンスとしての医学・医療の飛躍的な進歩は、社会全体に様々な影響を与え続けており、これに的確に対応するには、医学・医療に携わる個々人が自ら自分自身の倫理体系を構築しなければなりません。その基盤となるのは、長期間を要して培われた、強靱な論理的能力とバランス感覚に支えられた多面的な思考力、洞察力及び問題解決能力です。医学部では、このような能力、医学・医療に対する強い志望動機、ならびに適性を具備した人材を幅広い領域から発掘し、今世紀における多様な社会的ニーズに応えうる高い倫理観、使命感、ならびに思考の柔軟性を有するとともに、高知県の地域医療に貢献する強い意欲をもつ医療人の育成を目指して、以下のアドミッション・ポリシーを掲げています。

医学科

医学科では、高い倫理観、使命感、ならびに思考の柔軟性を有し、自らの力で問題を見つけ解決する能力を中心とした医療人に不可欠な諸能力、医学・医療に対する意欲、医療人に相応しい態度・適性、コミュニケーション能力ならびにcollaboration資質を具備した、活力漲る人材を求めます。

看護学科

人間が大好きで、命と生活を支援するためのライフサポーターを目指す学生を求めます。

看護人材の育成目標は以下の通りです。

- 倫理的感性に富む人間性の涵養
- 生命の尊厳・人権の尊重を基本とする権利擁護能力の育成
- 援助的人間関係形成能力、専門的知識に基づいた判断力の育成
- 対象者の自立と自己表現を支えるための創造力の形成
- チームワーク、マネジメント能力の育成



医学部では、「敬天愛人」「真理の探求」という医学部の前身旧高知医科大学建学の精神のもと、「人間味豊かな良き医療人づくり」と「地域医療に密着した学風づくり」を創設の理念として掲げ、実践しています。

カリキュラム例 Curriculum

医学科

- 6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。
- KMSコアカリキュラムは次の10項目に分類される。
 - A 医療と医学の基本理念(1~4年)
 - B 医学・医療と社会(1, 2, 4, 6年)
 - C 個体のライフサイクル(1~6年)
 - D 全身におよぶ病態と診療(2年)
 - E 診療の基本とその科学的根拠(1~6年)
 - F 医科学(1~4年)
 - G 医科学演習(1~4年)
 - H 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療(1~4年)
 - I 臨床クラークシップ(5, 6年)
 - J 履修した医学・医療の統合と将来の医学への展望(6年)

看護学科

- 看護学科のカリキュラムは、看護の基本概念である「人間」「健康」「看護活動」を主軸にして、次の4つの領域を基に構成されている。
 - 対象論領域[人間・社会集団と健康]
 - 環境論領域[生活・社会システムと文化]
 - 看護活動論領域[看護の本質と方法]
 - 総合看護領域

新しき医学の真理ひたに極めん

医学部医学科は、その前身の旧高知医科大学の建学の精神である「敬天愛人」と「真理の探究」即ち「自然の摂理を扱い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人を目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」人材を育成することを教育理念として掲げています。

教育目的

- (1) 豊かな人間性と裾野の広い価値観を有し、自己の人間形成を目指す医師及び医学研究者を育成します。
- (2) 医師としての使命に徹し、生命の尊厳と医の倫理をわきまえた医師を育成します。
- (3) 国際的視野に立った上で、地域住民の健康と福祉に十分貢献しうる意欲と能力を有する医師を育成します。
- (4) プライマリ・ケアを身につけ、患者第一に徹する医師を育成します。
- (5) 高度の知識・技能を身につけ、高度専門医療の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (6) 社会の変化と時代の要請に対応可能な高度な情報収集・分析能力及び自己課題設定・自己問題解決能力を有する医師、医学研究者及び医学教育者を育成します。
- (7) 医療現場での問題を真理解明の糸口とし、生命科学の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (8) 上記の目的達成のために、学生が勉学や人間形成活動に励める環境を整備します。

教育目標

医学部医学科の教育目標は、上記の目的達成のために総合的な医学を徹底的に身につけさせることにあります。即ち、人間の生命をあずかる医師の養成を柱とし、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識技能を身につけた臨床医ならびに医学研究者として、時代の要請に応じうる「心を診る医師」を養成することを目指しています。



医学部医学科の講座は、以下の3系、各講座より編成されています。

- (1) 本学の学部教育の主幹であるKMSコアカリキュラムをより円滑に実施するため、
 - (2) 学内で現在検討中の文系・理系の統合大学院構想に柔軟に対応するため、
- 基礎医学系
解剖学、病理学、生理学、生化学、遺伝子機能解析学、生体分子構造学、薬理学、微生物学、寄生虫学、免疫学
 - 社会医学系
法医学、医療学（人間医療学分野、予防医学・地域医療学分野、医療管理学分野）
 - 臨床医学系
消化器内科学、内分泌代謝・腎臓内科学、血液・呼吸器内科学、老年病・循環器・神経内科学、皮膚科学、小児思春期医学、産科婦人科学、神経精神科学、外科学（外科1）（外科2）、整形外科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、脳神経外科学、放射線医学、麻酔科学、歯科口腔外科学、病態情報診断学、附属病院・病院診断部と薬剤部

医師国家試験に合格し、卒業後2年間の臨床研修医となる場合と大学院に進学する場合があります。



新しい時代をリードする、グローバルな視点を持った看護専門職者の育成をめざす

21世紀に入り、急速な国際化や少子高齢社会を迎え、

保健・医療・看護に対する社会的ニーズは、増大の一途をたどっています。

このような刻々と変化する社会の中で、医療、ことに看護専門職者の必要性はますます高まっています。

本学科では、このような社会の変化に柔軟に対応し、

国際社会に貢献でき、情報技術が駆使できる、看護専門職者の育成を目指しています。

豊かな人間性を持った看護師になるためには、のびのびとしたキャンパスライフが

必要であると考えています。そのために、自然に囲まれたキャンパスと、

充実した学生生活をサポートする熱意ある教授陣があなたをお待ちしています。

さらに、看護をより専門的に深めていきたいと考える方のために、大学院教育も準備しております。

基礎看護学講座

基礎看護学講座は、基礎看護学、生活援助技術論、治療援助技術論、看護教育・管理学領域から成り立っている講座です。主に、看護の基礎となる教育を担当しています。看護学は対象が人間であることから、(1)人間・社会集団と健康 (2)人間関係の形成 (3)人間の心と体の健康 (4)看護の本質、等を理解する能力を育成します。

臨床看護学講座

臨床看護学講座は、成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学の4領域からなる講座です。臨床看護学では人間の発達と健康障害、生活習慣と健康障害を理解し、判断する能力を形成します。

地域看護学講座

地域看護学講座は、地域看護学、在宅看護学、老年看護学の3領域からなる講座です。地域の特徴に応じた援助ができるよう、地域看護活動の対象・場と特性を理解し、実践できる能力を育成します。



卒業後の進路

看護師及び保健師の国家試験に合格した後、本学医学部附属病院を含む医療機関や保健所、保健福祉センター、官公庁、福祉施設、訪問看護ステーション、一般企業などに勤務することができます。さらに、大学院に進学して、教員や研究者、看護管理者として進むこともできます。

また、高等学校教諭(看護)、養護教諭として小・中・高等学校に勤務することもできます。





自然の摂理を敬い、人間を大切にする。

橋本浩三医学部長 + 上野晃子

サイエンス、アート、そしてヒューマニティ

橋本 医療はよく「ScienceとArtとHumanityの融合」と言われます。ScienceとはKnowledge、つまり知識。ArtとはSkill、芸術。Humanityは人間味、倫理感。この3つが揃って初めて一人前の医師となれます。医療を志す者はこの3つを同じように大切にしなければなりません、高知大学では特にHumanityを重視して医学生、看護生の教育にあたってきました。

上野 私が憧れている医師像は、技術はもちろんですが何より患者さんにとって優しく近寄りやすい存在であり、病気だけでなく心も癒せるような医師です。この4年間で具体的に病気のことを知れば知るほど医学の深さ、難しさを実感しましたが、なりたい医師像をいつもイメージして自分のモチベーションを高めています。

高い能力と意欲を育てる先進的な入学者選抜とカリキュラム

橋本 本学医学部はまず入試の形態が特徴的です。学力だけでなく将来医師になる適性や意欲のある人に来てもらおうとAO入試（※1）を導入し、人間を多面的に評価しています。また従来の知識偏重型・詰め込み式の教育から脱却するために教育改革を重ね、問題解決型の「KMSコアカリキュラム」を全国に先駆けて実施しています。

上野 その中心となる授業がPBL（※2）。具体的に

マについて自分達自身で調べて解決するという自学自習型の授業です。例えば「胸が痛いという〇歳の女性の患者さんがいて・・・」というような問題文があり、その中から自分達が知らない部分を分担して調べ合い、教え合って答えを導き出します。その後、後にテーマに関連した講義があるのですが、先に自習しているので理解が早い。この形式で勉強できてとてもラッキーだったと思っています（笑）。

橋本 自学自習といってももちろん指導者は必要ですから、教員の負担は大きい。でもそれを上回る教育効果があります。実際患者さんというのは1つだけでなく様々な問題を抱えていますし、PBLで問題解決の習慣がつけば、医師になってからも生涯勉強を続けようという意欲につながります。

上野 それに学年みんな一緒にがんばろうという意識が強くなって（笑）。5年生からは実際に診療の現場に入っていきますが、その前に全国共用試験のCBT（※3）という知識・思考力を問う試験やOSCE（※4）という臨床技能試験があります。私達はOSCEの前にクラス全体で自主的な勉強会をやりました。各分野に分かれて診察技術を先生から教わってきて教え合ったんです。おかげで平均点が全国平均よりもかなり高かった。こういうことは他大学ではきっとやってないと思いますよ。

橋本 5・6年生の臨床実習では、学生も診療チームの一員として担当の患者さんの治療・診断計画に加わる「クリニカル・クラークシップ」が導入されています。こういう積極的な取り組みを通じて、知識・

できる人材を一人でも多く育てることを目標にしています。

※1 AO入試（Admissions Office方式・・・態度・習慣領域評価方式）：本学医学部では一次試験で学力、二次試験で適性や意欲を評価している（P15も参照）

※2 PBL（Problem-Based Learning）：問題解決型のグループ学習

※3 CBT（Computer-Based Test）：コンピュータを使って行われる全国共用試験

※4 OSCE（Objective Structured Clinical Examination）：客観的臨床能力試験

Profile

プロフィール



橋本 浩三教授

医学部長
医学科 内分泌代謝・腎臓内科学
【代表的な研究】

- 神経ペプチドによる内分泌系およびエネルギー代謝の調節機構
- 視床下部・下垂体ホルモンの分泌調節とその異常症
- 内分泌・代謝疾患の遺伝学的背景の解明



上野 晃子

医学科 4年生
岡山県出身

現在あらゆる分野を横断的に学んでおり、5年生で専門分野を決定する予定。

農学部

Faculty of Agriculture

人と自然が共存していく
道を探求する

学科名

■暖地農学科

- 暖地農学講座
- 暖地園芸学講座
- 施設生産工学講座

■森林科学科

- 森林資源学講座
- 森林資源利用学講座

■栽培漁業学科

- 海洋生物育成学講座
- 海洋生物生産化学講座

■生産環境工学科

- 農林環境工学講座
- 海洋環境工学講座

■生物資源科学科

- 生物環境化学講座
- 生物化学工学講座
- 遺伝資源開発学講座

※農学部は平成19年度、学部改組を計画しています。

取得できる資格

■暖地農学科

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- 家畜人工授精師
- 学芸員

■森林科学科

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- 林業改良指導員
- 測量士補
- 学芸員
- 樹木医補

■栽培漁業学科

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科・水産)
- 水産業改良普及員、学芸員

■生産環境工学科

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- 水産業改良普及員
- 測量士補
- 学芸員

■生物資源科学科

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科・農業)
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 学芸員

求める学生像 Admission Policy

今日の科学技術のめざましい進展の下で、

科学の基礎的知識を活かした応用技術の修得が求められてきています。

農学部ではそのような視点から、自然環境とその利用に関する事象に興味を持ち、

それらの様々な問題に対して積極的に取り組み、研究してみたいと考えている

学生を求めています。

暖地農学科

暖地における農業の発展を志す積極性のある学生、環境との調和の下、食料生産、施設生産技術の研究に興味を持ち、意欲的に取り組む学生、バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関心の高い学生を求めます。

森林科学科

地球環境において森林が果たす機能の研究を志す学生、森林資源の持続的利用と育成に興味のある学生、地球環境を考慮した資源の循環利用に興味のある学生を求めます。

栽培漁業学科

黒潮のめぐみの豊かさを実感し、その命の息吹にふれたい学生、海洋資源の利用と環境の保全に熱意を抱いている学生、食糧問題に水産科学の分野から貢献しようとする意欲を持つ学生を求めます。

生産環境工学科

森林から海岸までの「流域」の中で生じる様々な自然現象や環境問題に興味があり、自然環境や生態系と人間の居住空間や社会との望ましいあり方を考えることに意欲的で、探究心旺盛な学生、行動力があり、失敗を恐れずチャレンジ精神に富み、仲間と協力して調査や研究活動のできる学生、既成概念にとらわれることなく自分の意見や主張を的確に伝えることのできる学生を求めます。



高知県の恵まれた自然環境の中でディープな研究が行えるのが、本学農学部一番の強み。

生物資源科学科

自然の中の土壌や植物資源をグローバルな視野をもって探求する学生、生物の創り出す生理活性物質、食品機能を化学的に解明し、生命現象を遺伝子、蛋白質、酵素などの分子情報から解析することに意欲のある学生を求めます。同時に、遺伝資源の可能性をバイオテクノロジーによって拡大し、地球環境に適応した資源の利用と創出を目標に据えた応用研究に強い意欲のある学生を歓迎します。

農学部は平成19年度、学部改組を計画しています。

農学部は平成19年度に学部改組を計画しています。この計画では、平成18年度までの5学科制を、平成19年度から1学科8コース制とし、従来の5学科に対応する暖地農学、森林科学、海洋生物生産学、流域環境工学、生命化学の5コースに、新しく食料科学、自然環境学、国際支援学の3コースを加えた全8コースで教育を行う予定としています。入試選抜方法は、コース別に行う推薦入試と、一括して行う一般選抜入試とし、入学後に主として2年次に志望コースを選択して、3年次以降も他コースへの移行が可能となるカリキュラム体制をつくりあげる予定です。

なお、今後の検討状況で変更の可能性もあります。

カリキュラム例 Curriculum

暖地農学科

- 暖地農学講座
作物学、熱帯特用作物学、植物遺伝学概論、応用昆虫学、動物生産学概論など
- 暖地園芸学講座
農政学、施設蔬菜園芸学、施設花卉園芸学、暖地果樹園芸学、落葉果樹園芸学など
- 施設生産工学講座
生物生産システム学、農産施設工学、植物環境システム学、農業システム工学、貯蔵工学など

生産環境工学科

- 農林環境工学講座
土砂災害環境制御論、水資源学、流域計画学、制水施設工学など
- 海洋環境工学講座
沿岸海洋物理学、流域生態環境学、環境水質学など

森林科学科

- 森林資源学講座
造林学、森林植物学、植物生態学概論、森林保護学、森林測量学、森林生産施設学、森林測定学など
- 森林資源利用学講座
木材物理学、木材加工学、木材組織学、木質資源工学、林産製造学、森林経済学、森林政策学など

生物資源科学科

- 生物環境化学講座
土壌科学概論、土壌情報解析学、植物栄養学、植物生育環境学など
- 生物化学工学講座
食品化学、食品製造学、生理活性物質化学、化学生態学、応用微生物学、遺伝子工学、栄養化学、酵素化学など

栽培漁業学科

- 海洋生物育成学講座
魚類生態学、水族遺伝・育種学、海洋基礎生態学、水族環境学、水族病理学、魚類防疫学など
- 海洋生物生産化学講座
水族栄養学、養魚飼料学、水産食品原料学、水産物利用学など

遺伝資源開発学講座

- 基礎遺伝資源学、動物生理学、動物発生工学、植物微生物相互作用論など

暖地の特性を活かした先端農業を求めて

我々は食べることなく生きていくことはできません。

世界的に人口の増加が続き、日本でも食糧確保のあり方の根本的変革が議論されている現在、

食糧生産を担う産業 — 農業の重要性は益々増してきています。

本学科は、暖地農学（作物学、育種学、応用昆虫学、家畜管理学）、

暖地園芸学（蔬菜園芸学、花卉園芸学、果樹園芸学、農業経営学）、

施設生産工学（生物生産システム学、農産施設工学、植物環境システム学）の

3講座で構成されています。

暖地農学講座

西南暖地の農業の発展を志向して

温暖多湿な我が国西南暖地の立地条件を利用して、食用、特用、飼料作物及び家畜の効率的な生産と熱帯・亜熱帯作物の導入と利用、それらの遺伝的な改良及び害虫の生態と防除法に関する教育研究を行っています。



暖地園芸学講座

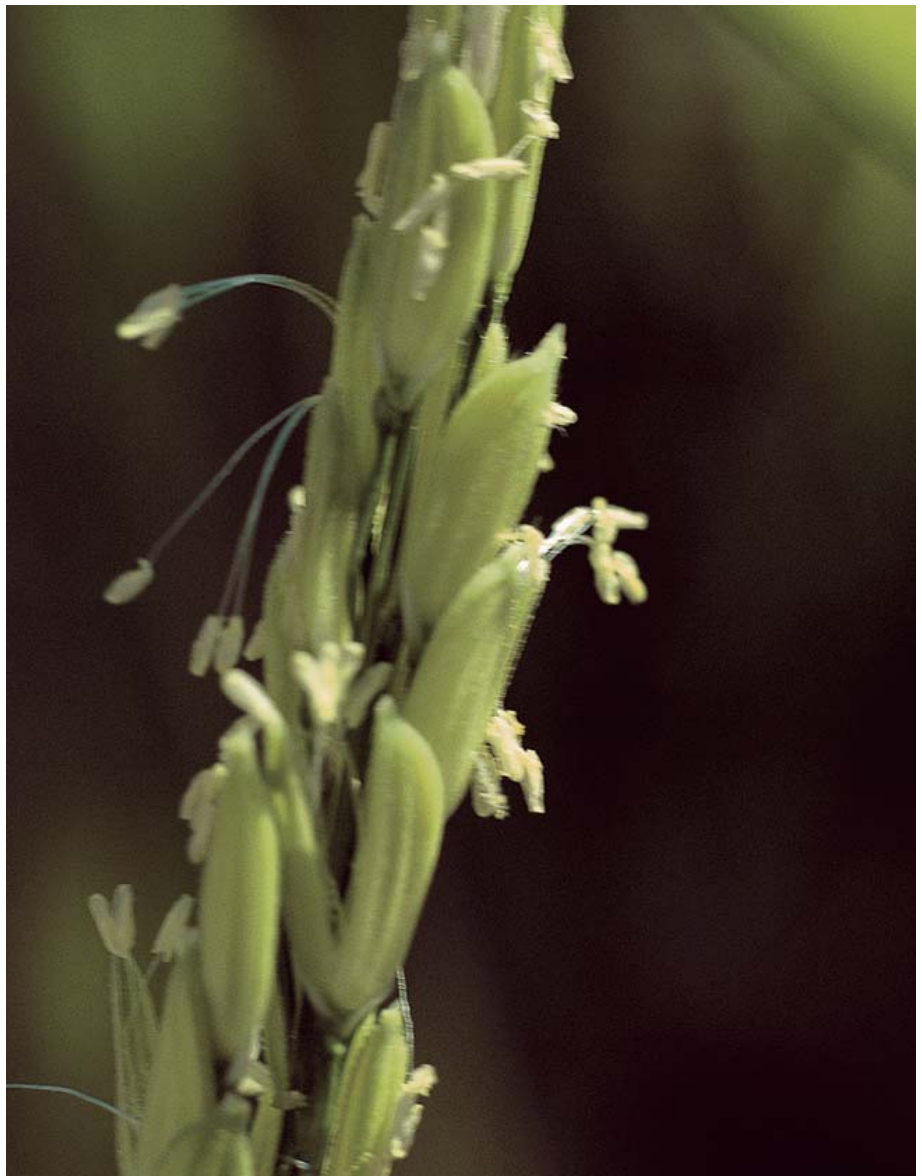
最新技術を統合した新しい農学を求めて

暖地及び熱帯・亜熱帯における園芸作物（蔬菜・花卉・果樹等）の繁殖・開花・結実等の生理、生態の基礎的知識の習得に加え、バイオテクノロジー等の先端技術導入によるそれら農産物の新しい栽培・増殖・輸送技術及び経営・流通等に関する教育研究を行っています。

施設生産工学講座

21世紀のハイテク食糧生産を担う

農業生産技術の高度化を図り、食糧生産の技術開発とその活用に対応できる人材の養成を目的として、農業機械のハイテク化や自動化、作物栽培への理工学的応用、施設栽培の環境制御、農産物の貯蔵・流通技術、植物生産システムの最適化、植物生体の情報化などの幅広い分野の教育研究に取り組んでいます。



森林資源の育成・管理・高度利用を目指して

森林が環境保全に果たす役割を重視し、
森林資源の育成・管理・高度有効利用を目指す学科です。
四国島内の暖温帯から亜寒帯までそろった多様な森林と
豊富な森林資源を背景に、地域特性を活かした教育研究を行うとともに
社会に必要とされる有用な人材の育成に努めています。

森林資源学講座

持続可能な森林資源の育成・管理

木材生産のみならず、水保全、国土保全、空気の浄化や大気温度調節など、様々な役割を果たす森林。本講座では、我々にとってかけがえのない存在である森林の基本的な機能を解明し、森林資源を充実させるための教育研究を行うとともに、多様で豊かな森づくりを担う人材の養成を目指します。

本講座は造林学、林業工学、森林計測学の3分野で構成されています。

森林資源利用学講座

循環と共生 — 環境に調和した森林資源の利用

森林から産出される木材、その他の林産物の高度な加工・利用技術の開発、パルプ・製紙・木材含有物質の産出など、森林資源の高度利用のための多様な研究とともに、木材の生産流通や地域振興など森林・林業の持つ社会経済的側面の教育研究を行い、広い視野を持った人材の養成を目指します。

本講座は森林経営学、木材理学、木材化学の3分野で構成されています。



卒業後の進路

農林水産省などの官公庁や各都道府県の農林水産関係部局及び試験・研究機関、教職員をはじめ、森林・林業関係団体、木材産業、木材流通業界、環境・測量設計等のコンサルタント会社など多様な分野への就職が可能です。また、さらに学究を深めたい人のために大学院農学研究科(修士課程)と大学院連合農学研究科(博士課程)があります。他大学大学院へ進学することもできます。



海を守り、海を育てる

国土の12倍におよぶ200海里内の海域を利用する海洋牧場構想を基盤に「作り・育て・獲る」という資源培養・育成型の水産業の理論と技術を追求。海洋生物資源の培養・育成・管理と生産物の貯蔵・加工・輸送・流通、及び飼料開発などの関連分野で活躍できる、有用な人材の養成を目的としています。

海洋生物育成学講座

海洋生物資源の持続的生産・育成をすすめるタイ、アユなど有用魚の放流用種苗育成技術及び遺伝・育種による優良品種の作出、魚のワクチンや水産用医薬品の開発、養殖魚介類の分留りや品質の向上、水質汚濁や赤潮発生機構などの研究を進めています。

海洋生物生産化学講座

魚の化学 — 飼育から食卓まで —
海洋生物の生産から流通利用までの化学的側面をとらえ、ブリなど有用魚種の栄養要求や配合飼料の研究開発、ならびに漁獲後の鮮度保持、魚肉の加工適正、水産資源の有効利用などの研究を進めています。



卒業後の進路

農林水産省などの官公庁や各都道府県の水産関係部局及び試験・研究機関、教職員をはじめ、バイオ関係企業や食品・医療品業界、魚介類養殖業界など、多様な分野への就職が可能です。
また、さらに学究を深めたい人のために大学院農学研究科(修士課程)と大学院連合農学研究科(博士課程)及び黒潮圏海洋科学研究科(博士課程)があります。
他大学大学院へ進学することもできます。

自然とのバランス、確かな技術で未来を創造

生物生産環境を広い視点から理解し、開発と環境保全の調和を目指します。

自然と人間とが共存できる環境を創り出すために、

農業工学、砂防学、水産工学などに基づいて、

新しい農林水産業の発展を根幹から支える理論と

技術の教育研究を行います。

流域環境工学教育コース

農業工学関連分野(土・水・環境)を軸とした認定技術者教育

一次産業の生産基盤の整備・保全という従来の枠組みに加え、河川を軸として森林から沿岸部までを「流域」としてとらえ、一次産業の場である森林・農地・河川・海に加えて、多様な自然環境や生態系、人間の住空間、社会との相互関係に配慮した環境の保全・改善・修復のあり方とそれらを支える技術及びその可能性に関する教育研究を行います。

生産環境工学教育コース

一次産業と地域環境問題に関する広汎な理解と広角的な視野を有する技術者教育

自然環境や生物資源環境に恵まれた高知の立地条件を活かして、自然科学や社会科学といった枠組みを超えた総合的な観点から、豊かな生物生産基盤の有効利用とその維持・保全技術に関する教育研究を行います。さらに、変化する社会ニーズに柔軟に対応するため、広域的な視野から「自然との共生」を図りつつ、活力と発展性のある農林水産業の構築を目指す技術者の育成を行います。



卒業後の進路

農林水産省・国土交通省などの官公庁や各都道府県・市町村の農林水産・土木関係技術職、及び試験・研究機関、教職員をはじめ、一般土木建設業、測量関連、建設コンサルタント、環境アセスメント、情報関連など、多様な分野への就職が可能です。

また、さらに学究を深めたい人のために大学院農学研究科(修士課程)と大学院連合農学研究科(博士課程)があります。

人類、生物、地球 — その調和を求めて

生物資源の開発と創世、及びその高度有効利用と有用物質の生産を目指し、
生物工学の最先端技術と様々な科学的知識を駆使して開発するとともに、
動・植物の有用遺伝資源を創出し、地球の生態保全と
改善方法を探求する学科です。

生物環境化学講座

生態環境の究明と保全的利用を目指して
生物資源生産の場である土壌環境や土壌生態系に対する理解を深めるとともに、植物の栄養や生理の特徴を解明しています。バイオマスレベルから地球環境レベルまでの幅広い問題を様々な科学的手法を用いて解析するための教育研究に取り組んでいます。

生物化学工学講座

生物のもつ無限の機能を追いつめて
生物資源の開発、生産性向上、有効利用を目指して、遺伝子組換え、酵素機能の解明、タンパク質工学、細胞化学あるいは生体成分の代謝など生化学・分子生物学の分野、生態機能を制御する生理活性物質の精製、構造決定、合成など生物有機化学の分野、及び食品など有効物質の化学と利用加工技術に関わる分野について、教育と研究を展開しています。

遺伝資源開発学講座

アグリサイエンスを通して生命の神秘を覗く
哺乳動物、高等植物、微生物、ウイルスなどが示す生命現象や多様な機能を、生物学的視点から見つめながら、細胞工学や遺伝子工学などの手法を用いて、生物資源の改良と利用、増殖と保存法及び植物病害防除法の開発に向けて幅広く教育と研究を行っています。



卒業後の進路

農林水産省などの官公庁や各都道府県の農水産関係部局及び試験・研究機関、教職員をはじめ、バイオ関係企業や食品・医療品業界など、多様な分野への就職が可能です。
また、さらに学究を深めたい人のために大学院農学研究科(修士課程)と大学院連合農学研究科(博士課程)があります。他大学大学院へ進学することもできます。



研究を通して、植物を通して、 自分自身を見つめる。

北野雅治教授 + 磯部泰地

人間をつくる場所

磯部 実は北野先生の研究室に入ったのは、あるアクシデントがきっかけです。学科のソフトボール大会で、僕の打球が市役所の方の車に当たって傷をつけてしまって…。その時、北野先生と一緒に市役所まで謝りに行ってくれた。先生の人柄に惹かれました。

北野 彼が相手方に誠実に対応していたもんだから、これはいい学生だと感じてスカウトしたんだよ。

磯部 でもよく怒られてます(笑)。

北野 気がついていないのにしない、という時に僕は怒る。親切の出し惜しみ、注意の出し惜しみはいけない。彼は春から温室のトップメーカーに就職が決まっている。指導する期間が短いから、その分怒ります(笑)。

磯部 先生は情熱家なんです。以前、僕が自分の怠慢で実験を進めてなかった時、心に負い目を感じて先生にも顔を合わせにくくなってそそくさと避けていたことがあった。そうしたらある日、「そういうふうにごそごそ隠れるような生き方をするな!」とずばっと言われました。急所をつかれたようで、心に響きました。

北野 授業で教えてもらった公式なんかは、社会に出ると忘れてしまうんですよ。じゃあなぜそんな長い期間、学ぶ機会を与えられているかという、自分を見つめるため。我々は研究を通じて、植物を通じて、結局は自分自身を見つめている。僕はいつも言うんです。心のひだを深くすると。社会に出て、いいこと悪いこといろいろ出てきても、ひだがたくさんあれば吸収できる。そういう人間になって出ていってほしいと思っています。

植物と対話する

北野 物部キャンパスの周りは、360度自然のパノラマが広がっています。青い空と山があって太平洋

があって、そばには清流・物部川が流れている。日本の農学部のキャンパスで、これほどの自然の中、しかも広大な農場が隣接しているところはない。東京ドームの7倍もの広さですよ。そのメリットを活かして、農学部は現場主義です。まずは現場で体験させてから難しい理論を教える。すると吸収が早いです。

磯部 僕の研究は、ほうれん草に低温ストレスを与えておいしい野菜を作ろうというもの。冷たい環境にさらされると、植物は寒さ対策のために糖などの濃度を高める機能があります。それをハウスの水耕栽培で、根だけに低温の環境を与えてできないかと。**北野** 彼が一からシステムを組んだんですよ。植物にどの程度ストレスを与えたら、どう反応して、どういう収穫物ができるのか、その規則性を見いだす。「スピーキング・プラント・アプローチ」と言いますが、植物を生体計測することによって、植物と話をする。植物に語りかけて環境を調節しようというものです。このほうれん草の研究は、彼が道筋をつけた。来年以降は後輩が引き継いでいきます。実践で鍛えられれば伸びていく可能性のある学生は多い。開放的ないい環境の中で、多様な農業と密接に関わりながら成長していってほしいと思っています。

Close up



学部を超えた共同研究

高知大学は、学部間の共同研究も盛ん。写真は、理学部物質科学科の吉田勝平教授が合成した色素を用いた蛍光フィルムによって自然光を変化させ、植物の成長をコントロールしようという研究。植物が必要としない紫外線や緑の光を吸収し、光合成に必要な青や赤の光に変えることで植物がどう反応するのか、農学部で栽培実験を行っている。

Profile

プロフィール



北野 雅治教授

暖地農学科 施設生産工学講座

【代表的な研究】

- 植物環境系における輸送現象に関する研究
- 植物生産システムにおける環境ストレスの回避と応用
- 室戸海洋深層水の高糖度トマト生産への応用



磯部 泰地

暖地農学科 施設生産工学講座 4年生

愛知県出身

【研究テーマ】

- 根圏の低温ストレスによる野菜の高付加価値化に関する研究

大学院

Graduate Schools

大学を卒業した後、さらに一層研鑽を積みたいと考える人たちのために、
本学の全ての学部の上に大学院があります。

修士課程

人文社会科学研究科修士課程

人文社会科学研究科は、人文科学と社会科学の2領域を総合的に捉え研究する、組織とカリキュラム編成を特色としています。従来のような限られた専門領域の知識・発想だけでは、これからの複雑な社会問題に対処できません。関連する他領域の学問成果にも精通することによって、新しい学問の展開が期待できます。多様な課題に柔軟に対応できる複眼的視野をもった優れた人材を育成します。社会人や外国人留学生も学びやすい特例(長期履修制度など)、授業科目を設けています。

■人文社会科学専攻 定員10名

教育学研究科修士課程

教育学研究科は、人間の発達や人間形成に関する基礎的理論及びその応用を探究し、専門的な研究能力と高度な教育実践能力を持ち、地域の教育・学術・文化・スポーツの課題に応えうる優れた教員の養成を目的としています。

学校教育専攻では、教育学・教育心理学・障害児教育等の基礎科学を基盤として学校教育の総合的な理論・実践研究を行っています。

教科教育専攻では、小学校・中学校・高等学校等の各教科の教育方法及び教科内容に関する専門研究を行っています。

■学校教育専攻 定員6名

■教科教育専攻 定員34名

理学研究科博士前期課程

博士前期課程は理学部と連結した展開教育を実施します。3専攻10講座(内2つは連携)は基礎科学ならびに応用科学分野で研究開発型及び問題解決型専門職業人を育成しています。また、研究面では「海洋」「資源」「新素材」「生命」「環境」などの国際的課題、「防災」「地域高度情報化」などの地域的課題にチャレンジしています。数理学・情報科学・物質基礎科学・物質変換科学・生体機能物質工学・生物科学・地球環境科学・防災科学・海底資源科学(連携)・植物分類・地理学(連携)の講座があります。

■数理情報科学専攻 定員20名

■物質科学専攻 定員26名

■自然環境科学専攻 定員29名

医学系研究科修士課程

医科学専攻は、自然科学系学部(理学、農学、薬学、工学)及び人文学系学部(心理学、社会学、経済学、教育学等)を卒業した多様な人材に生命科学をはじめ医学・医療の諸問題を早期から体系的に教育することにより、独創的な発想のできる医科学研究者・教育者、医療・福祉関連産業において活躍できる人材、福祉・行政分野において活躍できる専門家を育成することを目的としています。さらに、博士課程に進学することにより、独創的な発想のできる医学研究者・教育者になる道が開けています。また、昼夜開講制による社会人選抜枠を設けています。

看護学専攻では、看護活動の広範化・多様化に応じて、医療の現場を含む生活の場で必要とされる看護活動において、QOLの向上を目指しつつ、生活者の視点で対応できる能力を持ち、看護課題の解決能力と情報処理の知識・技術を有し、根拠に基づいた看護学を展開できる看護学教育者、看護実践者を育成することを目的としています。

■医科学専攻 定員15名

■看護学専攻 定員12名

農学研究科修士課程

農学研究科は、学部における一般的及び専門的教養のうえに広い視野にたつて精深な学識を修め、専門分野における理論と応用能力を有する研究者と技術者の養成を目的として設置された大学院修士課程(2年)です。社会的要請に沿った新しい農学を構築するとともに、社会人や外国人留学生の積極的な受入れ等社会に開かれた大学院を目指しています。

■暖地農学専攻 定員13名

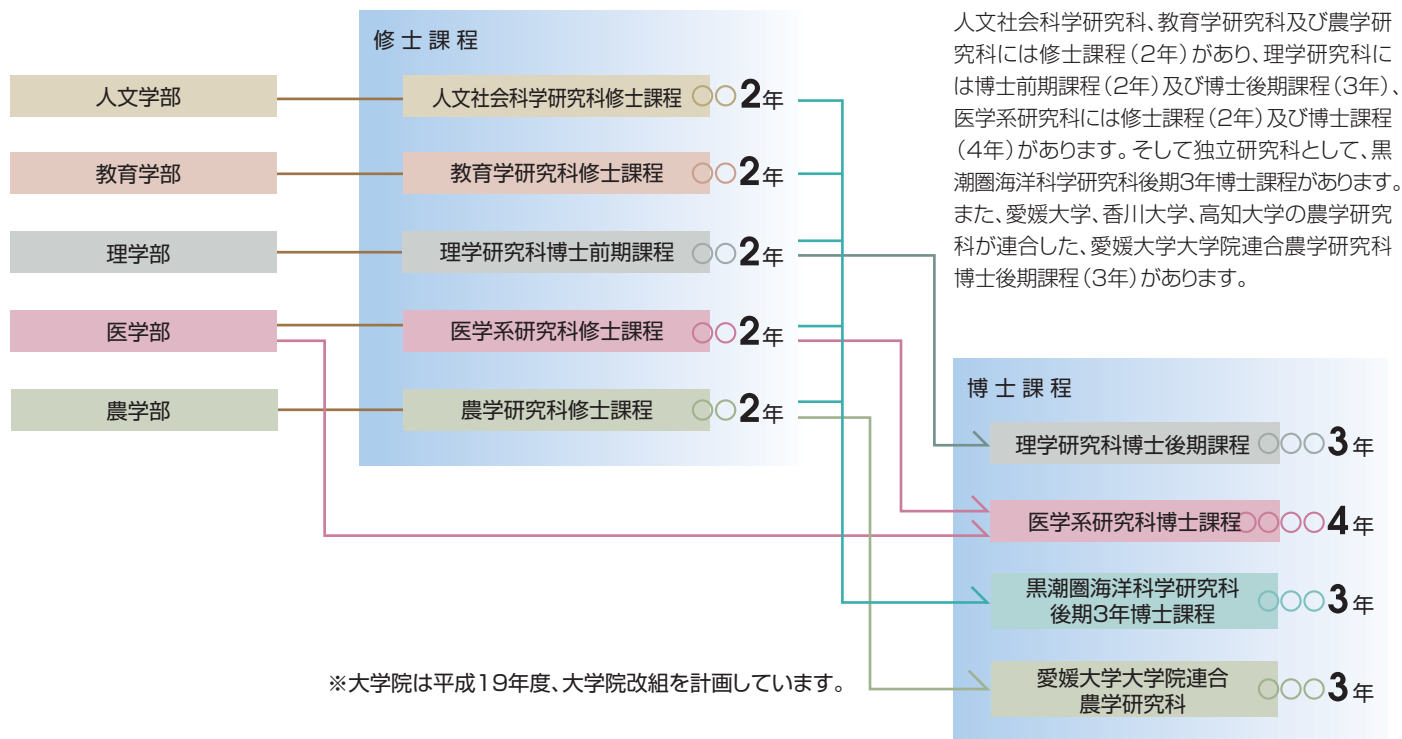
■森林科学専攻 定員11名

■栽培漁業学専攻 定員11名

■生産環境工学専攻 定員10名

■生物資源科学専攻 定員14名

大学院の流れ Degree Courses



博士課程

理学研究科博士後期課程

中国・四国地方で唯一太平洋に開かれた海洋高知の自然環境の特性を活かして、理学研究科博士後期課程は海洋と物質を2本柱とした高度な教育研究を行っています。海洋の未利用資源の探索・開発・保全を目標とする「海洋自然科学講座」と、新機能性物質・材料の開発や海洋生命科学の展開を目標とする「物質機能科学講座」は、正しい自然観と豊かな知性、広い学識と国際的感覚を持った高度専門職業人の育成を目指しています。また、他部局との協力や学外組織(海洋研究開発機構)との連携によって、境界領域や学際領域の研究開発を積極的に推進しています。

■応用理学専攻 定員6名

医学系研究科博士課程

高知医科大学において、昭和59年4月に大学院医学研究科博士課程が設置された後、平成15年10月に高知大学と統合、更に国立大学法人となった平成16年4月からは高知大学大学院 医学系研究科博士課程となりました。設置当初は、基礎医学と臨床医学を統合した、発生・形態系、機能・代謝系、生体制御系、環境・生態系の4専攻13部門から構成されていました。しかし、医学医療の変化ならびに高知県の地域特性に根ざした医学・医療上の高度な専門的ニーズに応えるため、平成12年に次の3専攻6部門に改・再編しました。

- (1) 総合的観点から生命科学を基礎とした医科学の研究を推進する「生命医学系」
- (2) 高知県という地域特性を重視し、中枢神経系をはじめとした高齢者に特有な疾患の病態解明と治療法の開発を目指す「神経科学系」
- (3) 環境因子と生体機能との相互作用の観点から教育研究を推進する「社会医学系」

現在141名(1~4学年)の大学院生が在籍しています。また、平成17年3月末までに、課程博士331名、論文博士255名の合計586名が博士(医学)の学位を取得しています。

- 生命医学系専攻 定員19名
- 神経科学系専攻 定員5名
- 社会医学系専攻 定員6名

黒潮圏海洋科学研究科後期3年博士課程

我が国をはじめ、東アジア及び東南アジアの広大な地域が黒潮から多大な恩恵を受けています。黒潮の影響を受けるこれらの地域を抱合して「黒潮圏」と称し、海域のみならず陸域を含めて「黒潮流域圏」と呼び、この黒潮圏の「資源」・「環境・社会」・「医学・健康」を総合的に研究教育する我が国唯一の独立研究科(後期3年の課程のみの博士課程)であり、高度な専門知識を持つとともにグローバルな感覚で国際社会において活躍できる研究者や職業人といった人材の育成、地域産業経済の活性化、生活と健康、異文化相互理解などに貢献することを目指しています。

この研究科では「流域圏資源科学講座」、「流域圏環境科学講座」、「海洋健康医学講座」の3講座を設置し、それぞれが他の2講座を補完する関係となっています。

■黒潮圏海洋科学専攻 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野をもった研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

- 生物資源生産学専攻 定員9名
- 生物資源利用学専攻 定員4名
- 生物環境保全学専攻 定員4名

国際交流

International Exchange

外国の大学に留学し学ぶことは、学位や単位の取得だけでなく日々の生活体験を通じて異文化に触れ、同時に日本文化を伝える上で大きな意義を持ちます。

また学内においても、外国人留学生との交流をはかることで、国際的な視野を広げることができます。

国際交流協定校



Voice

青山 愛

人文学部

国際社会コミュニケーション学科 2回生



カリフォルニア州立大学フレズノ校で過ごした約4ヶ月半は、私にとって忘れられないものとなりました。授業をはじめとアメリカでは熱心に取り組むものが多く、そこで自分自身が試されているような気がしました。留学前は毎日の同じような生活に慣れてしまっていたと同時に、それを変えようとしなかった自分がありました。でもこの留学を通して、自分で何かを変えようとしなければ何も変わらないことを実感しました。やるもやらないも、それはすべて自分次第。この留学で得た発見、出会い、忍耐力、そして興味があるものに夢中になることの素晴らしさを、これからの自分に活かしていきたいと思っています。

留学室

外国人留学生に対する修学及び生活上の指導助言を行うとともに、海外留学を希望する学生に対して交流協定校の情報提供や、留学先の修学及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受けることができますので、留学に興味のある方は気軽に訪ねてみてください。

国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居施設として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス（医学部）及び物部キャンパス（農学部）に設置されました。



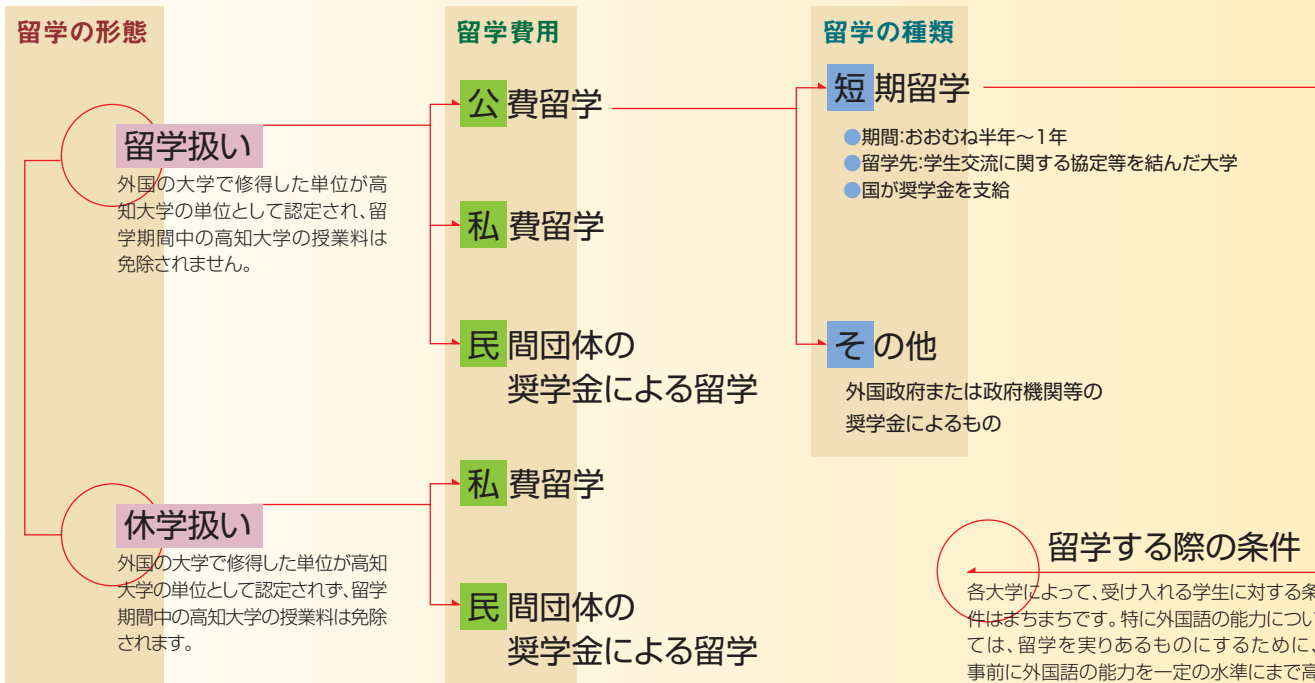
岡豊キャンパス



物部キャンパス

海外留学について

現在高知大学では、アメリカや中国など13ヶ国33大学等と協定を結んでいます。



医学部の国際交流について

高知大学医学部では、学生の皆さんのチャレンジシップを応援します。協定校のうち、カナダ・プリティッシュ・コロンビア大学、中国・佳木斯大学、韓国・漢陽大学、インドネシア・チェンダラワシ大学は、医学部が交流の中心となっています。

■ 体験短期留学制度（ジョン万プロジェクト）

今までに医学科・看護学科合わせて77名が短期留学を体験しました。なお、この制度は体験留学ですので訪問大学での授業単位は認定されません。

[医学科対象]

1998年から始まった語学研修のための短期留学制度です。留学先は、カナダ・プリティッシュ・コロンビア大学のEnglish Language Institute とオーストラリア・クィーンズランド大学のInstitute of Continuing & TESOL Educationです。プリティッシュ・コロンビア大学では3週間、クィーンズランド大学では5週間の英語研修とホームステイを体験します。

[看護学科対象]

1999年から始まった制度です。看護学科学生がプリティッシュ・コロンビア大学応用科学部看護学科で3週間、看護の授業に参加し、地元の学生とともに学ぶプログラムです。

■ この他にも留学プログラムがあります。

留学の際に選考を行う場合があり、語学力のレベルが判断の基準になる場合がありますので、計画的にTOEFLを受験することをお勧めします。

TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。受験案内・願書については、高知大学生協の書籍部でも入手可能です。

高知発 人と地球の未来 行き

高知大学には学部横断的かつ重点的に進められている研究プロジェクトがあります。
高知県というフィールドの中でその特性を活かしてどのような研究が行われているのか——
ここで、興味のかげらを手にとってみませんか？

現在進行中… 4つの研究プロジェクト

バイオ・ファンクショナルマテリアルを基盤にした 環境・先端医療分野への研究展開

バイオ・先端医療プロジェクトチーム

人類と環境との共生に対し、物質科学の視点から取り組みようとする先導的研究。物質科学と機能材料工学、生命科学と生命工学、癌・感染症と再生医療の3つで構成され、三者が重なり合う部分はグリーンサイエンス&テクノロジーとして共有される。以下の4つの課題を重点的に進めている。

課題1 本学が顕著な業績を上げている水熱化学、合成化学、天然物化学、材料科学などを基盤に、環境調和型の物質変換科学の確立を目指す。

課題2 生命基本素子の構造と機能、細胞内外のシグナル(環境)に対する細胞応答を研究する。また生体分子の機能開拓を重点的に行う。

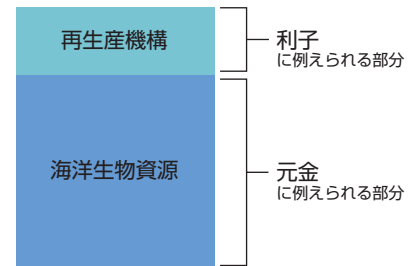
課題3 悪性腫瘍の発生・転移抑制・浸潤制御、更に診断・治療に関連した研究が進行中、PETの活用、ペプチド療法や遺伝子治療の開発が進展中である。また、悪性腫瘍との関連において細菌、真菌などの感染制御も重要な問題である。

課題4 特に匂いの記憶・学習における分子生物学的研究や神経系発達と特定の遺伝子との関連性のほか、パーキンソン病等の脳脊髄疾患に対する神経細胞移植、血管新生に関する細胞の再生についての臨床応用を目指した研究が進行中である。

海洋生態系の解明とその資源の持続的有効利用

海洋生物研究プロジェクトチーム

海の生態系を知り海洋生物の再生産機構を解明することで、生物資源の量を減らすことなく再生産の範囲内で資源を有効利用し、持続的にその利益を享受していこうという研究。



海洋生物資源を貯蓄に例えたと、「利子」の部分を活用していれば元の量…つまり「元金」は減らない、という考え方。

地球掘削コアを用いた地球環境・地球ダイナミクス・ 地下圏微生物の総合的研究

コア研究プロジェクトチーム

地球深部の物理・化学的性質や未知の地殻内微生物圏を探るための貴重な研究試料である掘削コアを用いて、地球科学・化学・生物学などの専門基礎研究や関連分野での応用研究を行う。掘削コアの国際的研究拠点として設置された海洋コア総合研究センターを中心に、4つの課題研究が行われている。

課題1 地域の特性を活かした「人と自然の共生」のために、黒潮圏の自然史(地盤や自然環境、生命の成り立ちや維持のしくみ)を解明する。

課題2 グローバルからローカル、数十年から数十年と様々なスケールで密接に絡みあう地球環境変化を、海洋掘削コアから解き明かす。

課題3 深海底などに生息する生物の生命戦略を解明し、それらの遺伝資源や遺伝子資源を様々な分野で有効利用するための研究を行う。

課題4 災害に強い地域づくりに向けて、南海地震の解明、発生確率や規模、津波の予測や防災に関する様々な研究を行う。

環食同源

～環境保全型食糧生産システムの構築～



環食同源(フィールドサイエンス)プロジェクトチーム

安全な食料を生産することで同時に健全な環境を創り、地球環境を修復・維持していこうというのが目標。そのために地産地消(※1)をベースに、循環型の食料生産と食料の高付加価値化を両立させ、それを持続させるため食育を推進している。



※1 地産地消:ある限られた地域で生産した食物を、その地域で消費すること

Profile

プロフィール

写真上より

深見 公雄教授

黒潮圏海洋科学研究科
流域圏環境科学講座
海洋生物研究プロジェクトチーム



受田 浩之教授

農学部 生物資源科学科
生物化学工学
環食同源(フィールドサイエンス)
プロジェクトチーム



キーワードは「循環型」「持続型」。

山、陸地、海はひとつのシステム

深見 高知県沖合を流れる黒潮は世界最大の海流の一つです。黒潮と聞くと恵み豊かに思うかもしれませんが、実はとても貧栄養で生き物はほとんどいません。だから水が透明で黒っぽく見えるので黒潮と言うんですね。そこに四国の山々から川や陸地を通して栄養豊富な水が流れ込み混ざり合うことで、高知県沿岸の「黒潮圏」と呼ばれる海域での生物生産が行われています。海洋生物研究チームのプロジェクトは、この黒潮圏の生物資源を枯渇しないように再生産の範囲内で有効利用し、環境を保全しながら持続的に利益を得ていこうという目的のものでした。

受田 「環食同源」もベースの考え方は同じですね。有害な農薬を過剰に使うようなことをなくし安全な食料を生産できれば、同時に環境保全にもつながります。環境と食は同じ源というプロジェクト名はここから生まれました。

深見 この2つの研究は最初別々にスタートしました。でも海に栄養を供給しているのは山であり陸地です。つまり山、陸地、沿岸海洋は一つのシステムになっている。そこで現在はプロジェクトをジョイントさせ、効率的に研究を進めています。

環境を守りながら、利益を得る

受田 食の安全・安心が崩壊したのは、生産の場と消費の場が離れてしまったことが原因ではないかと我々は考えています。お互いに顔が見えれば生産側は安全な農水産物を作り、消費側はそれを理解するという関係が生まれます。だから地産地消。そしてその地産地消をベースにした環境保全型・循環型の生産システムの中に、健康増進などの高価値付加を組み込んでいく研究を進めています。

深見 我々が海洋生物を調査して未知の資源が

見つかったとします。それにちょっと手を加えることで高い付加価値を生むかもしれない。そういうものをうまく利用していこうとしています。

受田 例えば高知県の地域素材として海洋深層水があります。その廃液を散布しておいしくて栄養価の高いトマトを作っています。海洋深層水を脱塩してミネラル水に加工する際、一方で濃縮された深層水ができますが、それをそのまま捨てる環境によくない。そこで再利用しようというわけです。すごいのはマイクロアルジェという植物性プランクトンの一種をこの廃液で培養する研究。マイクロアルジェは健康増進に役立つカロテンを生産しますが、これをハウスの中で高さ4mのアクリルチューブに入れて培養しています！いわば「マイクロアルジェの樹」(※2)ですね。カロテンなので色は真っ赤！数を増やせば、樹から林、林から森にもなっていく。楽しみです(笑)。



※2 マイクロアルジェの樹
海洋生物のマイクロアルジェが、地上で「樹」になるという大胆で夢のある発想。撮影時は空だが、新入生のみなさんは農学部で真っ赤に染まったマイクロアルジェの樹をきっと目にする事ができるはず！

あなたもプロジェクトの一員！

受田 高知大学に入学した学生は、こういった研究に少なからず関与できます。

深見 重点プロジェクトは学部横断・分野横断で取り組んでおり、我々のプロジェクトにしても農学部、理学部、黒潮圏はもちろん、健康面では医学部、経済法律面で人文学部、食育となると教育学部も関わることができます。また専門分野に分かれる前の共通教育で

もプロジェクトに関わる教員が何かしら授業を持っているので、研究の周辺に触れることができます。

受田 例えば人文学部の学生ならマクロ経済をはじめ物事を大きく捉えるマクロな目を持っています。農学部だと科学物質で物事を考えるなどミクロな切り口を持つ人が多い。全学的に浸透していけば、そのミクロな目とマクロな目が一体化できます。これは教育効果が大きいですね。

深見 見方が違えばとんでもない考え方や切り口がある。そこに触れられるのがこういった横断型の研究の魅力であり、自分を大きく成長させられるチャンスですよ。

大学で何を掴むか

深見 高知大学は懐の深い大学です。やりたいことが明確な人はその学問にどっぷり浸かって堪能してもらえたらいい、やりたいことがまだ掴めてない人は共通教育やいろんな教員との関わりの中で自分の学問とさっと出会えます。僕は学生によく言うんです。興味を持つまではそれを疑え、でも一度自分でこれだと決めたらとことん信じて突き進めと(笑)。まずは頭を白紙の状態にして授業や先生の話聞く。そして興味があったらそれに食いついていくことが大切です。

受田 それと積極性ですね。積極的に自らがアクションを起こしていくと失敗か成功かどちらかの結論を得ることができます。成功したら先に進めばいいし失敗したら反省すればいい。反省すれば当然進歩があり、進歩をしていけばどこかで夢を持つことができます。そういうサイクルの中にぜひ踏み込んでほしいですね。学生は金の卵です。ただその回りに白い殻があって、それを破れないでいるという状態。外側の殻さえ破れば、内側にはみんな素晴らしい可能性を持っています。

深見 その殻を破ってくれるのが、興味なんですよ。

教育研究施設

Educational Research Facilities

総合情報センター



メディアの森

総合情報センターには図書部門と情報部門が設けられ、図書と情報を融合させることによって学内の大学情報基盤を一元的に管理運用し、大学における情報活動を高度に支援しようとしています。さらに、学習・教育・研究活動の活性化と大学運営業務の効率化を促進し、地域社会に対する情報化の支援とデータウェアハウスとして学術情報などの提供及び公開などを通じて地域に貢献していくことを目的としています。

図書部門

図書部門は、朝倉キャンパスの中央館、岡豊キャンパスの医学部分館、物部キャンパスの農学部分館に分かれています。蔵書数約75万冊、学術雑誌18,000種を備え、資料は全て手にとって見ることのできる全面開架方式を採用しています。所蔵図書はオンライン検索ができます。

情報部門

大容量・高速演算処理、インターネットの利用、情報教育の支援、電子図書館的機能の支援など、情報処理のための機器を配備し、大学のあらゆる情報活動を高度に支援します。特に情報教育関連の授業で使用されており、さらに、e-Learningによる自主学習や、グラフィック処理ソフトの利用、各周辺機器の利用など、授業外での自習でも利用できます。

総合教育センター

総合教育センターでは、高知大学における全学生共通に必要なとされる人間の資質及び能力養成のための教育プログラムなどの研究・開発・試行を行います。そして、学部・大学院、その他関連組織などとともに、21世紀の知識基盤社会において才能ある人材を育成するための効果的で新しい仕組みを総合的に創り出していくことを目的としています。



大学教育創造部門

共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、FD(※)の企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどについて取り組んでいます。

※ FD(ファカルティ ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称。

キャリア形成支援部門

キャリア形成にかかわる教育などの企画・実施を行ったり、インターンシップ(短期間の就業体験)等の支援を行っています。また就職・進学の支援と相談にも応じています。

入試部門

入試の実施やそのあり方の研究、また入学後の成績追跡調査などを行っています。

修学・留学生支援部門

学生の心身の健康に関することや、修学・正課外教育及び学生ボランティア活動の支援などを行っています。その他、学生の生活支援、留学生の受入れ、留学生教育の実施、留学希望者支援などの活動に幅広く取り組んでいます。

総合研究センター

総合研究センターは、人的資源、知的財産、設備・施設を最大限活用して、全学的な重点研究プロジェクトなどへの支援強化を図るとともに、本学の研究・教育の進展に寄与することにより、個性豊かな地域の大学を創り出すことに貢献します。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育及び地域連携

の3つの機能を持っています。

海洋部門

全国共同利用施設



■ 海洋コア総合研究センター

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として、海洋研究開発機構（JAMSTEC）との共同運用体制のもと設立されました。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2004年からは全国共同利用研究が本格的にスタートし、年間40数件の研究課題が採択され、本センターの卓越した研究環境を活かした共同研究が行われています。

■ 海洋生物研究教育施設

海洋生物学、水産学及びそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類の他に海洋調査実習船「豊旗丸」（19t）、「ねぶちゅーん」（5t）を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用する黒潮に関する共同研究の場となっています。



生命・機能物質部門

■ 遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした学内共同教育研究施設です。組換えDNA実験指針に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、組換えDNA実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割が期待されています。



生命・機能物質部門

■ 動物実験施設

生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の養成に貢献します。



■ 実験実習機器施設

生命科学の教育、研究に必要な設備、機器を整備し、共同研究の効率化を図り、本学における生命科学の教育及び研究の向上、発展に貢献します。



■ RI実験施設

放射性同位元素を利用した実験を行うことができる共同実験施設です。

防災部門(南海地震防災支援センター)

南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携を図り、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。

国際・地域連携センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

国際・地域連携センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与するとともに、高知大学の有する人的資源、知的財産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携を推進することにより、地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、生涯学習、地域文化交流、健康福祉の向上及び地域課題の解決支援に資することを使命とします。また、その地域社会との連携で培ったノウハウを、アジア・太平洋地域を中心とした国々との連携に活用し、併せて国際社会に貢献していくことを目指します。



生涯学習部門

地域社会における高等教育の享受のための機会拡大と、生涯教育に資する場や学術情報の提供を行うとともに、地域社会の文化的交流のための取り組みを推進します。

知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

産学官民連携部門

教育研究、共同研究、受託研究及び生涯学習研究を通じた教育研究成果を地域社会に還元し、地域の活性化を支援します。

国際交流部門

教育研究等の国際的な連携及び国際的な大学間交流を推進し、地域の国際化にも寄与します。

保健管理センター



保健管理センターは、学生が心身ともにより良い健康状態で学生生活を送ることができるように様々な支援業務を行っています。

毎年春に健康診断を実施し、病気の早期発見や予防、健康の自主管理のための指導を行い、学生の健康保持と増進に努めています。専任の医師、看護師、さらに学外から定期的に招く専門医やカウンセラーが医療相談、カウンセリングを行っています。また授業中や課外活動中の不慮のケガや、病気に対する応急手当て、種々の悩みごとの相談にも応じていますし、課外活動などには、事前の申し込みがあれば救急カバンも貸出しも行っていきます。

学部附属施設

Special Facilities Affiliated with Faculties

教育学部附属教育実践総合センター

教育実践の理論的研究と実践的指導を推進する研究機関であり、地域との教育研究の交流の場として、大きな役割を果たしています。当センターでは、専任教員に学部内外の研究スタッフが加わって、教育実践、教育臨床、教育情報の3つの分野で様々な活動を行っており、同時に教育学部学生の教職実践力向上や、県内の現職教員の研究・研修の場としても役立てられています。具体的な活動内容は、各種の研究会・研修会、公開講座の開催、教育に関する情報交換・資料収集、AVシステムの講習会の実施、研究紀要や定期刊行物の発行による学部内外の研究交流促進などです。



教育学部附属小学校/附属中学校 附属養護学校/附属幼稚園

附属学校園は、教育研究と教育実習指導を主な使命としています。現在の4校園は、各校園種の教員免許状を取得する教育学部学生にとっては適切な実習校といえます。また、平成8年度からは当学部大学院設置に伴い、大学院生の学習教育、教科教育実践研究のフィールドとしての役割も果たしています。今や教育学部にとっては、一層不可欠な教育と研究のパートナーとなっています。



附属小学校



附属中学校



附属養護学校



附属幼稚園

理学部附属水熱化学実験所

高温高压下の水が関与する水熱反応について専門的に研究を行うために設立された、全国唯一の研究機関です。水熱反応は物理・化学・地学の分野にまたがり、理学的な基礎の上に立った応用範囲の広い研究分野です。国内外の大学や公立研究機関、民間企業と共同で研究を行い、機能性セラミックス粉末や薄膜合成、光学材料用単結晶育成、フロン等の環境汚染物質の分解、産業廃棄物の処理処分と有効利用など、様々な分野で多くの研究成果をあげてきました。研究分野が広いだけでなく、物質科学科の4年生や博士前期・後期課程の学生の他に、外国人博士研究員や民間企業の研究者も実験所で一緒に研究を行うため、学生諸君は幅広い学力や国際性を身につけることができます。



理学部附属高知地震観測所



四国地方の地震現象を解明するため、本所を含めて四国内に8か所の常時観測点を有し、隣接する大学の地震観測所との間で、通信回線を利用した波形データの交換を行っています。観測の対象となる地震は、四国付近のほか、地球の中心を伝播してくる南米の大地震まで、多種多様です。過去に繰り返して発生している南海地震と関連する四国付近の微小地震の時空間分布、地震発生のメカニズム、最上部マントルまでの詳しい速度構造などを研究テーマとしており、これらはおもに防災科学コース卒論の研究課題にもなっています。

医学部附属病院

附属病院には1,000名を超える職員が働いています。患者さんの生命をお預かりするとともに、明日の医療を担う医師、看護師、薬剤師、技師などのスタッフを養成する役割を担っています。新しい研究テーマも生まれ、その果実がまた患者さんのQOLを高めるために活かされていきます。医療、教育、研究の質とともに、経営の質も考慮に入れた新しい病院として機能していきます。患者さんたちは、学生による病院のボランティア活動も期待しています。



医学部附属医学情報センター

医学情報センターは、昭和56年の附属病院開院時に自主開発による我が国初の総合医療情報システム (IMIS: Integrated Medical Information System) を稼働させて以来、附属病院業務の改善に大きく貢献してきました。IMISはその後の我が国におけるモデルケースとなり、他大学や病院における医療情報システムの広範な普及の発端となりました。



この功績により日本科学技術連盟による昭和58年度の“石川賞”を受賞し、昭和60年には文部省令による医学部附属医学情報センターとなり今日に至っています。

このIMISは平成14年に全面更新され、我が国の医学界をリードする新IMISとして電子カルテシステムや医療工程管理システムとなりました。IMISには、開院以来日々の診療に伴って発生する様々なデータが全て蓄積され、この世界的にも例を見ない20年以上にわたる貴重なデータは様々な研究に活用されています。

また、医学情報センターは情報教育に積極的に取り組み続けており、現在では情報科学体験学習、情報科学、医学統計学、医療情報を担当しています。



農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター

フィールドサイエンスに関する教育研究の推進と共同研究等による地域及び国際社会への貢献を目的に、旧農学部附属農場と同演習林を統合して平成15年4月に設置されました。

交流企画推進部門

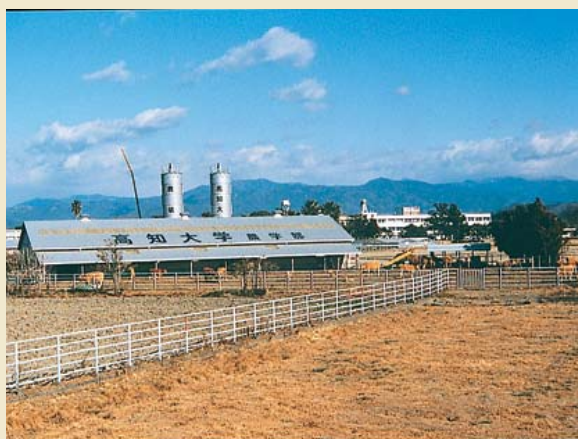
フィールドサイエンスに関する教育プログラムの開発、教育・研究指導や国内及び国際研究機関との共同研究・プロジェクト研究の企画調整を行います。

循環型暖地農業生産部門

物部キャンパス内にある南国フィールド(農場、総面積約18ha)には、稲、野菜、花、果樹、飼料作物、褐毛和種牛等が栽培・飼育されており、環境保全を考慮した循環型農業生産に関する実習教育・研究、技術開発、技術支援を行います。

森林生産環境部門

四国山地の南側に位置する嶺北フィールド(演習林)は、約127haを有し、スギやヒノキの植林地とモミや広葉樹の天然林が広がり、多様な森林を形成しています。森林環境や循環型生産に関する実習教育・研究、技術開発、技術支援を行います。



課外活動施設

体育施設が朝倉キャンパス・岡豊キャンパス及び物部キャンパスの3か所にあり、体育系の課外活動などに利用されています。その概要は下記の通りです。朝倉キャンパス・岡豊キャンパスには、課外活動共同施設もあり、サークルの部室などに使用されています。また文化系の課外活動には、朝倉キャンパス内の学生会館を利用することができます。大小の集会室や談話室、和室などがあります。

朝倉キャンパス



運動場(サッカー・野球)=10,506m²
 陸上競技場=18,723m²
 弓道場=89m²
 柔・剣道場=400m²
 体育館=1,649m²
 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ダンス・体操)
 プール=1,540m²
 テニスコート=7面
 体育館=1,145m²

岡豊キャンパス



陸上競技場(サッカー)=14,440m²
 野球場=12,286m²
 体育館=1,092m²
 武道場=363m²
 弓道場=129m²
 テニスコート=5面
 プール50m 7コース



運動場(サッカー・ラグビー・野球)=15,892m²
 テニスコート=3面
 体育館=1,077m²



物部キャンパス



キャンパスライフ

Campus Life

キャンパスライフは皆さんが、良き社会人、地球人として自立する知識、技術を学び、体験し、体得するためにあるもの。

そういう意味で本業の学業はもちろん、様々なサークル活動、そして学外での生活も含め、

全てが同じように大切だと考えます。

本学に在籍する数年間が、皆さんにとって豊かな、輝かしい人生の数年間であってほしい・・・。

本学ではそのキャンパスライフをできる限り支援する体制を整えています。

学内厚生施設 Public welfare facilities



食堂・喫茶

朝倉キャンパスには学生会館に食堂と喫茶が、岡豊キャンパス（医学部）には医学部会館に食堂と喫茶が、また、物部キャンパス（農学部）には日章会館に食堂がそれぞれあります。朝倉キャンパスと物部キャンパスは高知大学生生活協同組合（生協）の運営で、組合員は安い価格で利用できるようになっています。また、岡豊キャンパスには附属病院内に病院食堂もあります。

購買部・書籍部

全てのキャンパス内に、学生や教職員が必要となる商品を品揃えした書店と売店があります。書店では教科書、参考書、専門書、一般書、辞典、雑誌などを、売店では文房具、日用品、食料品など各種商品を取り扱っています。朝倉キャンパスの売店には、パソコンなどの電化製品や航空券、JR切符、電話取り付け、自動車教習所、引越サービス、各種チケットなどを取り扱うコーナーがあり、運営は生協が行っています。

また、朝倉キャンパスには正門付近に郵便局・銀行のキャッシュコーナーや理容サービスが、岡豊キャンパスには附属病院内に売店、薬店、簡易郵便局、さらに郵便局・銀行のキャッシュコーナーや理容美容室もあります。



喫茶(朝倉キャンパス)

Voice

森 敏寛さん
大学生協食堂部

大学生協はキャンパスライフの様々な場面に関わっています。食堂、書籍部、購買部があり、共済や下宿紹介、パソコンの販売・修理、インターネット回線の接続などもやっています。

食堂で好評なのは「ミールカード」。これは1年間使える学食カードで、1日1,000円まで食べ放題。14万円で販売していますが、年間営業日数が約270日なので全営業日使えばなんと27万円分ほど食べられお得です！栄養価を考えた豊富なメニューは、地域の「食育」拠点高知大学ならではの。食事歴のレポートを1か月ごとにお送りしているので、食べたメニューやカロリーもわかり親御さんも安心ですよ。

また、カフェ横の学生広場では昼休みにブレイクダンスのパフォーマンスがあったりよさこい踊りの練習をしていたりと、大学生協付近は楽しいことがいっぱい。上手に利用して下さい！



学生さんに聞くと、「ミールカードでいかに食べ尽くすかに執念を燃やしている学生も多い」のようです。



大学生協購買部(朝倉キャンパス)



書籍部(朝倉キャンパス)

学生寮 Accommodation

4つの学生寮がありますが、入寮希望者は定められた手続きによって入寮し、入寮後は管理運営規則に従うこととなります。各寮の概要は以下の通りです。

かつら寮



Voice

おじま
小島 佳代さん
南溟寮 寮母



学生寮には寮母、会計、栄養士、調理師などがおり、寮生活のお手伝いをしています。一番気を遣っているのは健康面で、病気が流行しないよう衛生面や体調管理のサポートをしたり、食事もおいしくて栄養もボリュームもたっぷりのものを用意しています。学生さん達は普段からよく規律を守って生活していて、廊下では必ず大きな声で挨拶を交わしていますね。お互いに尊重しあい、何かあってもよく話し合いをしながら自分達自身で解決しているようです。そういう過程も大切。学問と同じくらい価値があると思っています。突拍子もない出来事?そりゃあ数え切れません!(笑)でも学生らしくていい。どこの寮も活気があって、きっと楽しい学生生活が送れると思いますよ。

寮名	性別 (定員)	月額寮費	部屋・その他
南溟寮	男子 (242人)	約20,000円	2人部屋 3食 食事付
かつら寮	女子 (60人)	約20,000円	2人部屋 3食 食事付
ときわ寮	女子 (80人)	約7,500円	個室 食事なし(自炊設備あり)
日章寮	男子 (60人)	約6,500円	個室 食事なし(自炊設備あり)

ときわ寮



南溟寮



日章寮



サークルライフ Circle Life

高知大学のサークル活動は文化系・体育系ともに活発です。朝倉キャンパスには約60、岡豊キャンパス（医学部）には約40の大学公認サークルがあり、学生の半数近くがそのいずれかに所属しています。活動は主にキャンパス内を中心に行われますが、他大学との交流や地域への貢献などというかたちで学外へと活動の幅を広げているサークルも多くあります。あなたもスポーツや文化活動など様々な分野で自己を磨き、生涯にわたる友情と思い出をたくさん作ってください。



文化系サークル

■ 朝倉キャンパス

- 交響楽団
- 吹奏楽団
- 合唱団
- マンドリンクラブ
- 邦楽部
- フォークソングクラブ
- フォーク フォーク
- 軽音楽 BLUE SKY
- SEA-BREEZE
- 美術部
- 表千家不白流茶道部
- 裏千家茶道部
- 華道部（青雲流）
- 囲碁将棋部
- 映画文化研究会
- 演劇研究会
- 星の会
- 野生生物研究会
- 学術探検部
- ユースホステル部
- マイクロコンピュータクラブ
- E・S・S
- 写真部
- 児童文化研究会
- 子ども倶楽部
- ニューシネマパラダイス
- 総合映像研究会
- 放送研究会
- 園芸部
- 奇術部

■ 岡豊キャンパス

- 医学部ESS
- 医学部囲碁・将棋部
- 医学部映画研究会
- 医学部合唱団
- ACLS南国
- 医学部管弦楽団
- 医学部軽音部
- 医学部JAZZ研究会
- 小原流華道部
- 医学部裏千家茶道部
- 医学部写真部
- 医学部天文部
- 医学部美術部
- アウトドア・HAM・サークル
- パソコンサークル DOS/V
- 医学部アジア僻地医療を支援する会
- 医学部漢方研究会（うどん部）
- フィールド医学研究会
- 医学部ボランティア部
- Peer部
- 高知大学 Mental Health Care Club
- ダンス部

体育系サークル

■ 朝倉キャンパス

- 陸上競技部
- 水泳部
- ヨット部
- サイクリング部
- フリークライミング部
- ワンダーフォーゲル部
- モダンダンス部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- サッカー部
- ラグビー部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- 硬式野球部
- バドミントン部
- アメリカンフットボール部
- ソフトボール部
- ライフル射撃部
- 柔道部
- 剣道部
- 合気道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 弓道部
- 洋弓部
- 卓球部
- 体操競技部
- 芦原空手部
- 新極真空手部
- バスケットボール部
- 軟式野球部

■ 岡豊キャンパス

- 医学部合気道部
- 医学部空手道部
- 医学部弓道部
- 医学部剣道部
- 医学部柔道部
- 医学部硬式庭球部
- 医学部ゴルフ部
- 医学部サッカー部
- 医学部準硬式野球部
- 医学部スキー部
- 医学部卓球部
- 医学部バスケットボール部
- 医学部バドミントン部
- 医学部バレーボール部
- 医学部ヨット部
- 医学部ラグビー部
- 医学部ワンダーフォーゲル部
- 医学部蹴球会
- 水泳部
- 陸上部



Close up

サッカー部 (朝倉キャンパス)

サッカー部は、毎年80名前後の部員数を抱え、大学選手権・天皇杯などの全国大会で常に優秀な成績を収めています。大学でのクラブ活動の意義や取り組み方について、監督と部員の皆さんにお話を伺ってみました。



Profile

プロフィール

野地 照樹助教授

サッカー部 監督

教育学部 保健体育 運動学

JFA (日本サッカー協会) 公認A級コーチ

全日本大学選抜、ユニバーシアードのコーチ、監督を歴任

サッカーを通じての豊かな人間教育

全国大会の常連、強豪チームと言われますが、転機となったのは91、92年あたりです。ヤンマー(セレッソの前身)相手に勝ったり引き分けたり、大学選手権も3位まで勝ち上がりました。以来一定のレベルをキープしています。指導にあたっては、JOCや国の在外派遣などで世界を回った経験から、効果的・効率的な練習と選手一人ひとりの自立の精神を大切にしています。学生とはお互いコミュニケーションをとりながら相手の意見や人間性を尊重していますね。もちろん学生ですから学業との両立がまず第一です。そして大学の一員として地域貢献も大切。毎週2回の少年少女サッカー教室や、夏には強化練習とサッカー教室を兼ねた宿泊キャンプなども行っています。サッカー文化を育み、サッカーを通じての豊かな人間形成を目指しています。

選手から一言

南方 孝太キャプテン

3年生 教育学部 生涯教育課程

国立のサッカー強豪校を探して高知大学にきました。大きい大会に出てできるだけ多く勝つのが個人の目標。将来はプロとしてJFAなど、できるだけ高いレベルでプレーしたいですね。

渡津 友博

1年生 理学部 自然環境科学科

野地先生は厳しいけれど学生と同じ立場で接してくれる先生。大学は技術も高く、サッカーに向き合う姿勢もみんな真剣。それぞれが強い意志を持って目標に向かっていきます。

学生の暮らし Student's living

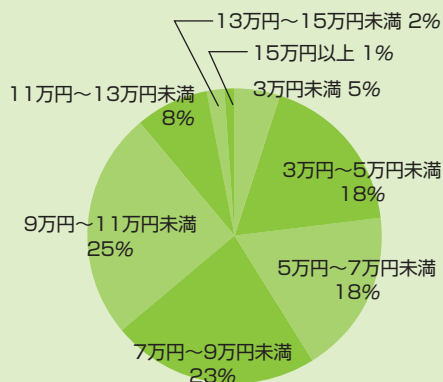
高知県は気候が温暖で、住まう人々も気さくで大らかな気性の土地柄と言われます。どのキャンパスに通う学生も、それぞれの地域で見守ってくれる近隣の人々や四季折々の自然・風物に囲まれ、のびのびとした学生生活を送ることができるでしょう。学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など個々の状況に応じて様々ですが、奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので気軽に学務部学務課までお問い合わせください。



生活費

学生生活を送るのに必要な費用は、個々様々ですが、10万円前後の者が25%を占めています。全体的な平均金額は8万程度であると思われ、家庭からの仕送りは10万円前後の者が27%を占める一方で、3万円未満の者も22%います。また、約3割が何らかの奨学金により、4万円前後を受給しています。アルバイトについては、約72%が月額3万円未満の収入となっています。

学生の月平均の生活費 ※医学部学生は除く



生活費の内訳例

1 学生寮に入寮している理学部学生の場合

収入	
仕送り	40,000
バイト代	20,000
計	60,000

支出	
寮費(寄宿費・食費・光熱費等)	20,000
教材費(学費を除く)	10,000
部活動費(ワンダーフォーゲル部)	10,000
交通・交際費	10,000
繰り越し (就職活動※や部活の長期合宿などのために貯金)	10,000
計	60,000

※学生によっては就職活動に多くの費用がかかるケースもあります。(出身地や都市部への企業訪問に必要な交通費など)

2 アパートで一人暮らしの教育学部学生の場合

収入	
仕送り	100,000
計	100,000

支出	
住居費	40,000
食費・光熱費	40,000
教材費(学費を除く)	5,000
交通・交際費	10,000
繰り越し	5,000
計	100,000



Scholarship

奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金が主なものですが、その他に政府機関、地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。奨学金の貸与を受けることができる者は、学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者です。

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金及び有利子の第二種奨学金(きぼう21プラン)があり、両方を併用することも可能です。貸与月額(平成18年度入学生)は、第一種の場合、自宅通学者は45,000円、自宅外通学者は51,000円です。第二種の場合は、30,000円・50,000円・80,000円・100,000円の中から自由に貸与月額を選択することができます。

なお、本学独自の奨学金としては、医学部の「岡豊奨学会奨学金」及び農学部の「池知奨学金」があります。

入学料・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けて入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

アルバイト

学務部学生支援課(岡豊キャンパスは学生・研究支援課、物部キャンパスは物部地区事務課)でアルバイトの紹介を行っています。家庭教師をするためには事前登録が必要で、相手生徒の学年によって1時間当たりの標準報酬額を決めています。家庭教師以外の一般アルバイトについては、長期休暇を除いて1週間以上にわたる昼間の業務や車両運転、家庭訪問などの物品販売、深夜作業や風俗営業など学生としてふさわしくない職業は紹介していません。平成16年度中に取り扱った主な業務は、軽作業、調査、イベントの手伝いなどで、述べ861件を、また、家庭教師については、75件を紹介しました(医学部を除く)。

なお、医学部では教育的配慮のもとに家庭教師に限って紹介を行っており、平成17年度は25件を紹介しました。

住居

下宿、アパートやマンションの紹介は、朝倉キャンパスは高知大学生生活協同組合で、岡豊キャンパスは学生・研究支援課で、物部キャンパスは物部地区事務課で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

各キャンパス周辺の賃貸価格は、平成18年4月現在で以下の通りです。なお、最近では食事付きの下宿はあまり希望者がありませんが、その場合の料金は約50,000円となっています。

各キャンパス周辺賃貸価格表

貸間	10,000~25,000円
6畳・8畳 1K・ワンルーム	20,000~50,000円

就職活動支援

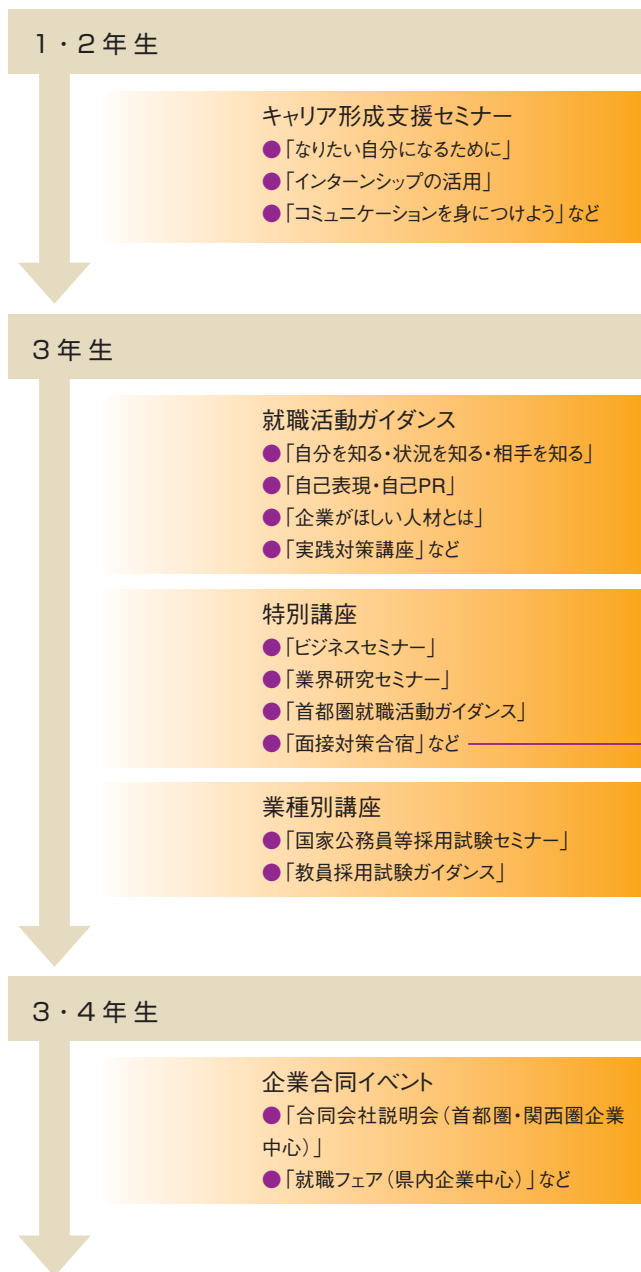
Support of job hunting

大学で得たさまざまな知識や経験を活かし、自分の個性を十分に発揮しながら職業人として社会の中で人々に貢献していく。これが就職することの意義です。就職室では大学4年間を通してさまざまな角度からその支援を行っています。

高知大学就職室のキャリアサポート Career Support

学生一人ひとりが高いモチベーションで希望の就職を実現できるよう、4年間を通して段階的にサポートを行っています。自己分析や職業理解、業界研究、実践対策など、年次に応じた内容の講座やセミナーを開催。県外出身者が多い現状も踏まえ、首都圏からの講師招聘や全国規模の企業合同説明会の実施など体制の充実を図っています。

キャリアサポートの主な流れ



面接対策合宿



「こういった講座はマニュアルを学ぶためのものではありません。良き社会人と出会い、自分の成長に対して貪欲になるためのひとつの機会。」とは就職室のスタッフの言葉。こういうチャンスをうまく活用しよう。



人文学部人間文化学科4年生
NTT西日本内定
野口 喬生
北海道出身

就職活動とは 自分が社会とどう関わるかを 考えること

僕は大好きな歴史を学問として学びたいと考え、高知大学に来ました。入学当初は将来へのイメージもまだ漠然としていましたが、3年生の春に就職室主催のセミナーに参加したあたりから就職について真剣に考えるようになりました。

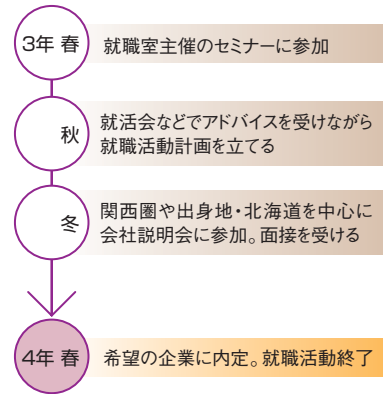
就職活動というのは、単に働く会社を選ぶということではありません。時間をかけて自分自身のことやどんなふうに社会と関わっていきたいのかを考え、自分の中で熟成させていく過程が大切です。僕は就職室のセミナーや就活会(※)の勉強会などに参加して、たくさんの考える機会をもらいました。そして“人の話を聞いてその人が持っている問題を解決する”“人と人をつなぐことができる”という点で、「通信」という仕事を選びました。

実際に会社訪問や面接を受けていく中で、あらためて感じることも多かったですね。いいなと共感できたのは人間性を感じられた会社。自分もその部分を大切にしたいと思い、会社選びの際の重要な視点となりました。

企業であっても利益を上げながら公共の役に立つ

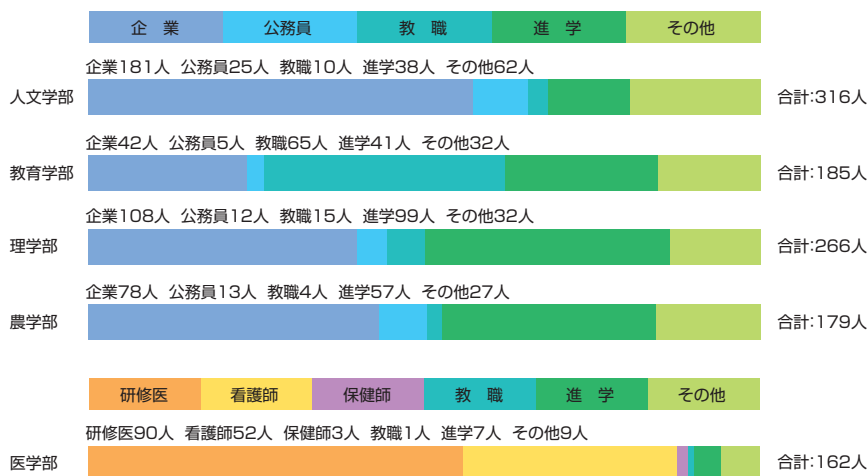
ことができる僕は思うんですね。将来は地域に根付くサービスで、地域社会の向上と会社の発展との両方を追求できたらいいなと思っています。まだ全然ビジネスプランにはなっていませんが(笑)。これからです。

野口くんの就職内定までのスケジュール

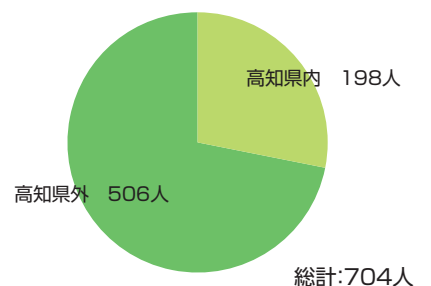


※ 就活会とは
4年生の就職内定者が自らの経験を活かして自発的に行っている就職支援活動。さまざまな勉強会をはじめ、先輩達のリアルな経験談も聞くことができる。

■ グラフ1. 学部別就職状況 (2005年3月卒業生)



■ グラフ2. 就職先の県内外比率 (2005年3月卒業生)



未来の学生達へ

今、あなたの前には未来への道が少しずつ姿を現しはじめています。

それは希望の光に満ち溢れた、でもまだ少しおぼろげなもの。

しかし大学での4年間を修了するとき、

あなたの足元には縦横無尽に確かな「道」が拓かれ、

あなたはそこから、自分の個性にあった道筋を自由に選びとりながら

未来に向かって進んでいくことができるでしょう。

さあ、イメージしてください。あなた自身の未来への道程を。

そして扉を開けてください。そのスタート地点となる、高知大学への扉を。

高知大学は、あなたという個性を待っています。





受験生の皆さんへ

高知大学
学長 相良祐輔



受験生の皆さんは、いま、生徒から学生になろうと勉学に励んでおられることでしょう。

大学生になろうと強く希望して、努力を重ねられている皆さんに、ぜひ理解しておいていただきたいことがあります。

大学に進む、学生になる、ということの基本は、あなた方自身の意志によって、教えてもらう生徒の時期に訣別し、受験し、何を学ぶかをあなた方自身が求め、決定する生活を始めるということなのです。

あなた方が真剣に求め続ける限り、高知大学は誠実にあなた方の問いかけに答え続けます。

高知大学は、地域の大学として、21世紀の日本の大学改革という要請を絶好のChanceと捉え、大学変革Changeに勇気を持ってChallengeし、21世紀にふさわしい新しい時代の智を創造Createしようとしています。

この四つのCを目標として、グレード・アップした大学に進化しつつあります。

受験生の皆さん!

この進化し続ける高知大学を目指してください!

この新しく生まれ変わった高知大学への入学のChanceを確実に捉え、生徒から学生へのChangeを果たして、21世紀の社会に十分Challengeできる能力を、みんなで一緒に開発Createしようではありませんか。

高知大学は、学生とともに進化する大学なのです。

あなた方の人生において、今、このときに求めておかねば、二度と手にすることのできないものは何か、それは、高知大学のキャンパスのどこかに必ずあります。私たち教職員は、そのようなあなた方と、共に進もうと考え、待っている、それが高知大学であります。

オープンキャンパス

Open Campus

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生達自身も参画して、
充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。
あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。

7, 8, 10



Open Campus Schedule

第1回オープンキャンパス

平成18年7月30日(日) 13:00~16:00

岡豊キャンパス:医学部医学科

7月31日(月) 10:00~12:30

岡豊キャンパス:医学部看護学科

8月7日(月) 10:00~15:00

朝倉キャンパス:人文学部

教育学部

理学部

物部キャンパス:農学部

第2回オープンキャンパス

平成18年10月7日(土) 10:00~15:00

朝倉キャンパス:人文学部

教育学部

理学部

物部キャンパス:農学部

10月21日(土) 13:00~16:00

22日(日) 10:00~15:00

岡豊キャンパス:医学部

各学部の企画メニュー例

人文学部 全体説明、先輩の話、各学科・コース別の模擬授業、資料展示、ビデオ上映、学生との交流会など

教育学部 全体説明、先輩の話、各課程・コース別の模擬授業、講話、ミニ展示など

理学部 全体説明、先輩の話、各学科・コース別の模擬授業、実験・演習体験、研究室見学、パネル展示、質問コーナーなど

医学部 学科説明、入試情報、模擬授業、教員・在学生質問コーナー、カリキュラム説明、短期留学体験談など

農学部 学部説明、在学生による学科紹介、学科関連施設の見学、在学生との懇談会、研究室見学、在学生による研究室と学生生活紹介など

データ

Data

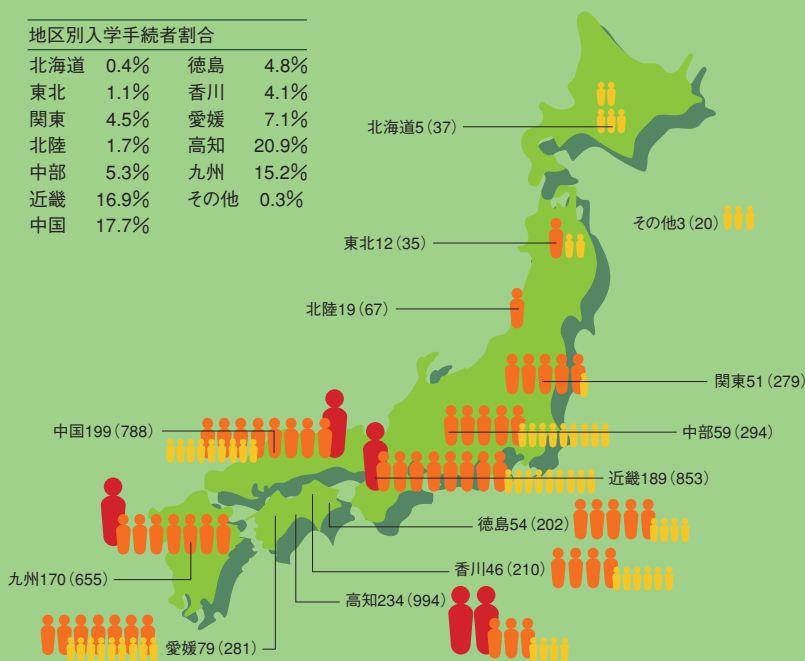
平成18年度の地区別入学手続者数

(2006年3月31日現在)

地区・入学手続者数(志願者数) *私費留学生を除く

地区別入学手続者割合

北海道	0.4%	徳島	4.8%
東北	1.1%	香川	4.1%
関東	4.5%	愛媛	7.1%
北陸	1.7%	高知	20.9%
中部	5.3%	九州	15.2%
近畿	16.9%	その他	0.3%
中国	17.7%		



オープンキャンパスは 知りたい情報を知るチャンス!

オープンキャンパスは各学部ごとに実施しています。どんな専門分野があるのか、どんな授業が受けられるのか、どんな形で社会に貢献できるのか...? 疑問や質問があれば、この機会にどんどんぶつけてみてください。学科長や教員が丁寧にお答えいたします。先輩達の体験談も聞けるので大学での勉強の仕方や学生生活について具体的にイメージができるはず。体験授業も実施していますので、気軽に参加してください。

入試情報の提供や 入試相談なども行っています

入試情報・学部相談コーナーでは、学部ごとに教員による入試情報の提供や入試相談を実施します。次年度の入試実施科目など有益な情報や、AO入試・推薦入試に関する説明、その他入試に関する様々な相談に応じます。自由に入れますのでぜひお立ち寄りください。

卒業生の進学・就職状況や 留学に関する情報も

大学で身につけた能力や個性を、次のステップでどれだけ発揮できるのだろうか。—。そのような視点で大学を選択したい方には、卒業生の進学や就職に関する情報も就職情報室にて公開しています。また国際交流については提携校など留学に関する情報を公開しています。

特典

参加者には

- 大学オリジナルグッズをプレゼント!
- 構内食堂の食事券(100円)をプレゼント!
(朝倉・物部キャンパス)
※昼食は構内食堂をご利用いただけます
- 大学案内、学部パンフレットなど各種資料をお渡しします

Information

[対象] 高校生、高等学校教諭、保護者

[申込方法]

高等学校を通じてお申し込みください。
第1回オープンキャンパス:7月19日締切
第2回オープンキャンパス:9月26日締切

[お問い合わせ先]

入試係

☎ 088-844-8766

FAX 088-844-8147

※その他の詳細等については大学HPでもご覧いただけます。

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

[テレフォンサービス案内] TEL 088-844-7777

地図・アクセス

Map



各施設の所在地及び交通アクセス

1 朝倉キャンパス (人文学部・教育学部・理学部) / 高知市曙町2-5-1
事務局、学生会館、各学部棟 (人文/教育/理)、附属看護学校、附属教育実践総合センター、附属高知地震観測所、附属水熱化学実験所、国際・地域連携センター、メディアの森 [総合情報センター (図書館)]、保健管理センター

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分
空港バスで約50分、「朝倉 (高知大学前)」下車
- 高知駅から 車で約20分
バスで約25分
路面電車で約30分、「朝倉 (高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

2 岡豊キャンパス (医学部) / 南国市岡豊町小蓮
医学部、図書館医学部分館、附属病院、動物実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、附属医学情報センター、国際交流会館

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約20分

3 物部キャンパス (農学部) / 南国市物部乙200
農学部、メディアの森農学部分館、附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター、大学院黒潮圏海洋科学研究科・日章寮・国際交流会館、留学生寄宿舎、遺伝子実験施設、海洋コア総合研究センター

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 空港バスで3分
- 高知駅から 車で約30分
空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車
JR土讃線、ごめん・なはり線約25分、「後免町駅」下車、車またはバスで約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分

4 男子学生寮 (南湊寮) / 高知市朝倉丙252

5 女子学生寮 (かつら寮) / 高知市曙町1-16-1

6 女子学生寮 (ときわ寮) / 高知市朝倉東町46-33

7 教育学部附属小学校・中学校・幼稚園
高知市小津町10-13・高知市小津町10-91・高知市小津町10-26

8 農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター
教育実習実験研究施設/
香美市土佐山田町上穴内字栗石20-2

9 宇佐野外活動施設 / 土佐市宇佐町東町浜3159-5

10 海洋生物研究教育施設 / 土佐市宇佐町井尻194

11 艇庫

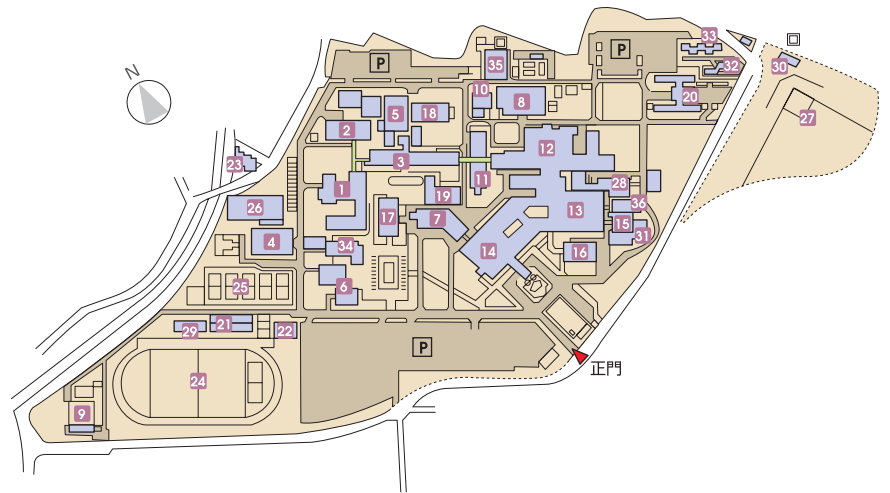
朝倉キャンパス (人文学部/教育学部/理学部)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 事務局(学務部入試課) | 19. メディアの森
[総合情報センター(図書館)] |
| 2. 非常勤講師宿泊所 | 20. 学生会館 |
| 3. 保健管理センター | 21. 体育館 |
| 4. 教育学部1号館 | 22. 理学部附属高知地震観測所 |
| 5. 教育学部2号館 | 23. 理学部附属水熱化学実験所 |
| 6. 教育学部3号館 | 24. 国際・地域連携センター |
| 7. 教育学部4号館 | 25. 体育館 |
| 8. 教育学部51番教室 | 26. 教育学部附属看護学校校舎 |
| 9. 教育学部音楽棟 | 27. 教育学部附属看護学校
日常生活訓練施設 |
| 10. 教育学部附属教育実践総合センター | 28. プール |
| 11. プール | |
| 12. 理学部情報科学科棟 | |
| 13. 理学部1号館 | |
| 14. 理学部2号館 | |
| 15. 共通教育1号館 | |
| 16. 共通教育2号館 | |
| 17. 共通教育3号館・学生サービスセンター | |
| 18. 人文学部管理棟・学生サービスセンター | |



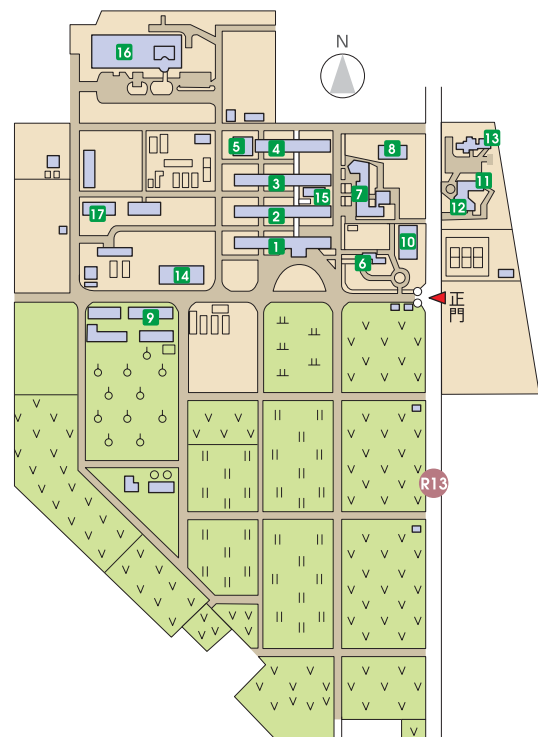
岡豊キャンパス (医学部)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 講義棟 | 19. 附属医学情報センター |
| 2. 実習棟 | 20. 職員宿舎 |
| 3. 基礎・臨床研究棟 | 21. 課外活動共用施設 |
| 4. 体育館 | 22. 武道場 |
| 5. RI・動物実験施設 | 23. 非常勤講師宿泊施設 |
| 6. 大会館 | 24. 陸上競技場 |
| 7. 管理棟 | 25. テニスコート |
| 8. 中央機械室 | 26. プール |
| 9. 排水処理施設 | 27. 野球場 |
| 10. 車庫 | 28. RI治療施設・院内保育所 |
| 11. 臨床講義棟 | 29. 弓道場 |
| 12. 病棟 | 30. 野球場附属施設 |
| 13. 中央診療棟 | 31. MRI-CT装置棟 |
| 14. 外来診療棟 | 32. 国際交流会館(単身・共用棟) |
| 15. 高エネルギー治療施設 | 33. 国際交流会館(世帯棟) |
| 16. 食堂棟 | 34. 看護学科棟 |
| 17. 図書館(医学部分館) | 35. 発電機棟 |
| 18. 大学院研究棟 | 36. PETセンター |



物部キャンパス (農学部)

- | |
|---|
| 1. 管理部及び森林科学科棟 |
| 2. 生産環境工学科及び生物資源科学科棟 |
| 3. 暖地農学科及び生物資源科学科棟 |
| 4. 栽培漁業学科棟 |
| 5. 実験研究棟 |
| 6. 厚生会館 |
| 7. メディアの森農学部分館[総合情報センター(図書館)]
及び講義室棟 |
| 8. 福利厚生会館 |
| 9. 附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター |
| 10. 体育館 |
| 11. 日章寮 |
| 12. 留学生生寄宿舎 |
| 13. 国際交流会館 |
| 14. 遺伝子実験施設 |
| 15. 共同利用機器分析室棟 |
| 16. 海洋コア総合研究センター |
| 17. 黒潮圏海洋科学研究科棟 |



インターネット 高知大学ホームページアドレス

<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。
入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。

入学者選抜に関するお問い合わせ先(ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

入試情報サイト <http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

テレホンサービス案内 088-844-7777

入試情報についてのテレホンサービスを次の通り行っています。

- 4月上旬～ 今年度のテレホンサービス実施予定について
- 7月上旬～ 「オープンキャンパス」について
- 8月上旬～ 「入学者選抜に関する要項」及び
「大学入試センター試験を課さない推薦入学」の募集要項の請求方法
- 10月下旬～ 「一般選抜及び特別選抜」の学生募集要項の請求方法
- 1月下旬～ 「前期日程及び後期日程試験」の出願状況速報
- 3月上旬～ 「入学手続及び欠員補充方法」の案内
- 3月28日～ 追加合格実施の有無について

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学務課 TEL 088-844-8149

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

E-mail gm05@kochi-u.ac.jp

●表紙デザインは、平成17年度「高知大学 学生募集ポスターデザインコンテスト」の入賞作品の一部を使用して制作しています。

ポスター制作者：人文学部 浦志 知香子、櫻村 彩加